

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会
第12回全国障害者スポーツ大会専門委員会

日時：令和5年1月26日(木) 10時00分～
場所：大津合同庁舎7階 7-A会議室

次 第

1 開会

2 挨拶

3 審議事項

- (1) 競技用具整備要項(案)
- (2) 手話・要約筆記ボランティア募集要項(案)
- (3) リハーサル大会について(案)

4 説明事項

- (1) 式典基本計画(案)
- (2) 開・閉会式会場等整備基本計画(案)
- (3) 運営ボランティア募集要項(案)

5 報告事項

- (1) わたSHIGA輝く障スポにおける実施競技について(競技名変更)
- (2) 障スポ特有の準備進捗状況について
- (3) 常任委員会および総会における主な決定事項について
- (4) いちご一會とちぎ大会視察報告および滋賀県選手団アンケート実施結果について

6 閉会

第12回全国障害者スポーツ大会専門委員会 配席図

令和4年1月26日（木）
滋賀県大津合同庁舎7階 7-A会議室



◎原副委員長

◎永浜委員長

西山委員◎
新田委員◎
長谷川委員◎
平野委員◎
小倉委員◎

◎山本委員
◎伊勢坊委員
◎大平委員
◎増田委員
◎中西委員

事務局

Web機器

事務局

第12回全国障害者スポーツ大会専門委員会 委員名簿

(順不同: 敬称略)

選出区分	機関・団体名および役職名	氏名	備考
スポーツ 関係	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 競技力向上対策本部 次長	山本 将	
	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会 主査	伊勢坊 美喜	
	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会 副会長	原 陽一	副委員長 (WEB出席)
	パラリンピアン (ロンドンパラリンピックセーリング競技日本代表選手)	西山 克哉	
	パラリンピアン (リオデジャネイロパラリンピック視覚障害者マラソン女子日本代表選手)	近藤 寛子	(WEB出席)
	パラリンピアン (東京パラリンピック車いすバスケットボール女子日本代表選手)	北田 千尋	(WEB出席)
	特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・滋賀 理事	高木 正二郎	(WEB出席)
福祉関係	社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 縁企画改革グループ	安武 邦治	(WEB出席)
	公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 副会長	新田 正紘	欠席
	公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会 理事	小倉 繁昌	
	特定非営利活動法人滋賀県精神障害者家族連合会 理事	川並 正幸	(WEB出席)
	社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会 事務局長	澤田 喜之	(WEB出席)
	社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会 事務局長	中西 久美子	
	滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長	大平 真太郎	
学校関係	滋賀県立障害者福祉センター 副所長	増田 圭亮	
学識 経験者	立命館大学スポーツ健康科学部 准教授	永浜 明子	委員長 (WEB出席)
	びわこ成蹊スポーツ大学 准教授	中道 莉央	(WEB出席)
県関係	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 課長	長谷川 貴也	

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会

第12回全国障害者スポーツ大会専門委員会

会議資料



日時：令和5年1月26日（木）10:00～12:00

会場：滋賀県大津合同庁舎7階7-A会議室

湖国の感動 未来へつなぐ



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



わたSHIGA輝く障スポ(第24回全国障害者スポーツ大会)開催準備スケジュール

2023.01現在

年 度		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)			
開催年前		9年前	8年前	7年前	6年前(開催内定)	5年前(開催内定)	4年前	3年前(開催決定)	2年前	1年前	開催年			
準備組織等	県	国スポ・障スポ開催準備委員会					国スポ・障スポ開催実行委員会							
会場地市町		市町連絡会議					会場地市町準備委員会(任意)							
会場地選定	会場地選定	会場地選定基本方針					会場地市町との協議							
競技・式典会場施設整備 (国スポと連携)	会場地選定	会場バリアフリー調査					会場設計にむけた検討	会場仮設施設基本設計	会場仮設施設実施設計	会場バリアフリー調査	会場仮設施設整備 (リハ大会・本大会)			
競技付帯サービス		開閉会式および競技会場の整備推進					大会情報保障実施設計							
障スポ	競技運営	競技運営主管団体の決定					競技種目の決定	リハーサル大会日程検討・決定	リハ大会実施要綱等	競技実施要綱等	競技本部・記録本部			
オープン競技		オープン競技実施基本方針					オープン競技普及・促進 開催準備							
競技役員等		競技役員等編成基本方針・養成基本方針・養成基本計画					競技役員等編成計画							
競技用具		競技役員等養成事業の推進・開催準備活動の支援					競技用具整備要項							
ボランティア 選手団 サポート	手話・ 要約筆記	手話・要約筆記ボランティア 養成基本方針					指揮者・リーダー養成	出前講座	ボランティア募集・登録	ボランティア配置	ボランティア配置			
	会期決定	先催県視察												
総務企画	会場地選定 ・経費負担	国スポ・障スポ開催基本構想					会期決定							
広報・県民運動	広報 (国スポ一体)	県および会場地市町の業務 分担・経費負担基本方針					会場地選定(正式競技)	オープン競技選定	行幸啓・御成り計画・警衛計画等(国スポと連携)					
	行啓関係 (国スポ一体)						激励会の会場選定 激励演技等の検討							
	総合案内・ ふれあい広場 (国スポ一体)						関係団体との調整等							
							総合案内実施計画							
							歓迎・接伴計画の策定、総合案内所等の整備等							
							おもてなし広場の検討							
							おもてなし広場基本計画							
							おもてなし広場実施計画							

わたSHIGA輝く障スポ(第24回全国障害者スポーツ大会)開催準備スケジュール

2021.12現在

年 度		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
開催年前		9年前	8年前	7年前	6年前(開催内定)	5年前(開催内定)	4年前	3年前(開催決定)	2年前	1年前	開催年
準備組織等	県	国スポ・障スポ開催準備委員会		国スポ・障スポ開催実行委員会		大会実施本部		最終総会・解散			
会場地市町		市町連絡会議		会場地市町準備委員会(任意)		会場地市町実行委員会		市町競技会実施本部		解散	
全体						競技別会期決定		大会実施要綱策定			
会場地選定		会場地選定基本方針		会場地市町との協議							
競技・式典会場施設整備(国スポと連携)				会場バリアフリー調査		会場設計にむけた検討		会場仮設施設基本設計		会場仮設施設実施設計	
開閉会式および競技会場の整備推進								大会情報保障実施設計			
競技付帯サービス						協力団体依頼		設置会場選定		運営体制作成	
障スポ	競技運営	競技運営主管団体の決定		競技種目の決定		リハーサル大会日程検討・決定		リハ大会実施要綱等		競技実施要綱等	
						競技会運営調整会議(県,会場地市町,競技団体等)				競技本部・記録本部	
						プログラム編成検討		プログラム編成会議(リハーサル大会)		プログラム編成会議(本大会)	
						資格審査実施要項		リハ大会資格審査		本大会資格審査	
								競技運営システム準備			
オープン競技		オープン競技実施基本方針				オープン競技普及・促進 開催準備					
競技役員等		競技役員等編成基本方針・養成基本方針・養成基本計画				競技役員等編成計画				競技役員等編成(最終)	
競技用具						競技用具整備基本方針		競技用具整備計画		競技用具の配備	
ボランティア	選手団サポート					協力校選定・依頼		協力校決定		講習会開催	
手話・要約筆記		選手団サポートボランティア養成基本方針		手話・要約筆記ボランティア養成基本方針		指導者・リーダー養成		ボランティア養成			
						出前講座		ボランティア募集・登録			
						先催県視察					
総務企画	全体	国スポ・障スポ開催基本構想				会期決定				大会報告書	
		県および会場地市町の業務分担・経費負担		会場地選定(正式競技)		オープン競技選定					
						行幸啓・御成り計画、警衛計画等(国スポと連携)		激励会の会場選定		選手団激励会の開催	
						関係団体との調整等					
						総合案内実施計画				行幸啓本部	
						歓迎・接伴計画の策定、総合案内所等の整備等		警衛本部		選手団激励会の開催	
						おもてなし広場の検討		おもてなし広場基本計画		おもてなし広場実施計画	
						おもてなし広場設置				総合案内	
広報・県民運動	広報(国スポ一体)	マスコットキャラクターの検討・選定		大会愛称、スローガンの募集・決定		開催内定イベント開催		開催決定イベント開催		開催1年前イベント開催	
						広報活動の推進(広報誌・ポスター等の作成、インターネット・マスメディアを通じた広報等)(国スポ一体)					
		県民運動(国スポ一体)		県民運動基本方針		県民運動基本計画		県民運動アクションプログラム		県民運動(花いっぱい運動、クリーンアップ運動等)の推進(国スポ一体)	
		大会運営ボランティア(国スポ一体)						カリキュラム・テキスト等検討		講習会等開催	
								募集・登録		ボランティア配置	
宿泊・衛生	宿泊(国スポ一体)	宿泊基本方針		宿泊基本計画		配宿計画・調整等・宿泊施設充足対策(国スポ一体)				宿泊本部	
		宿泊基礎調査						標準献立作成方針		標準献立の作成、講習会の開催等	
		医事・衛生(国スポ一体)		医事・衛生基本方針		医事・衛生基本計画		医療救護、食品衛生対策、環境衛生対策、防疫対策等(国スポと一体)		救護本部	
輸送・交通	輸送・交通(国スポ一体)	輸送・交通基本方針		輸送・交通基本計画		輸送・交通・会場輸送計画等(国スポと一体)		輸送・交通総合調査		第一次参加意向調査	
		輸送・交通基礎調査						第二次参加意向調査		輸送本部	
式典	式典(国スポ一体)			式典基本方針		式典基本構想		式典基本計画		式典実施計画	
				開・閉会式会場等整備基本計画		開・閉会式会場等整備実施計画				式典本部	
警備・消防	警備・消防(国スポ一体)	警備・消防防災基本方針		警備・消防防災基本計画		業務実施計画(自主警備、消防防災、大規模災害・突発重大事案対策)		警備計画書(自主警備、交通警備、防災計画書)		警備本部	
募金・協賛	募金・企業協賛(国スポ一体)			募金・企業協賛の推進				会場管理運営要綱		消防防災本部	

- 1 進捗状況や関係機関との調整等により、隨時見直し。
- 2 各種計画等の実施、各種業務の執行にあたっては、国スポと連携し実施。

わた SHIGA 輝く障スポ 競技用具整備要項（案）

1 趣旨

この要項は、わたSHIGA輝く障スポ（第24回全国障害者スポーツ大会）の競技運営に万全を期すとともに、障害者スポーツの普及・振興に資することを目的とし、大会の開催に必要な競技用具の整備について必要な事項を定める。

2 競技用具の区分

(1) この要項でいう競技用具とは、次表のとおりとする。

区分		内容	例示
競技用	備品	競技を実施するために直接必要な備品 (施設および施設に付帯するものは除く。)	フライングディスクゴール、 STT用卓球台等
	消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品	ボール、石灰、ラインテープ等
運営用	備品	競技を実施するために直接必要な備品以外のもので、競技運営に必要な備品 (施設および施設に付帯するものは除く)	机、テント、放送器具等
	消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品以外のもので、競技運営に必要な消耗品	事務用品、清掃用具等

(2) この要項でいう備品とは、その性質または形状を変えることなく、比較的長期間にわたって使用にたえうるもので、取得価格が30,000円以上の物品をいう。

(3) この要項でいう消耗品とは、備品以外のものをいう。

3 競技用具の整備

(1) 競技用具の整備に当たっては、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会(以下「実行委員会」という。)が、競技運営主管団体および会場地市町と協議し、決定する。

(2) 競技用具の整備に当たっては、次の順位により行うものとする。

ア 県、競技運営主管団体、会場地市町、競技会場等が現有する用具を使用する。

イ 先催県から引き継いだ用具を使用する。

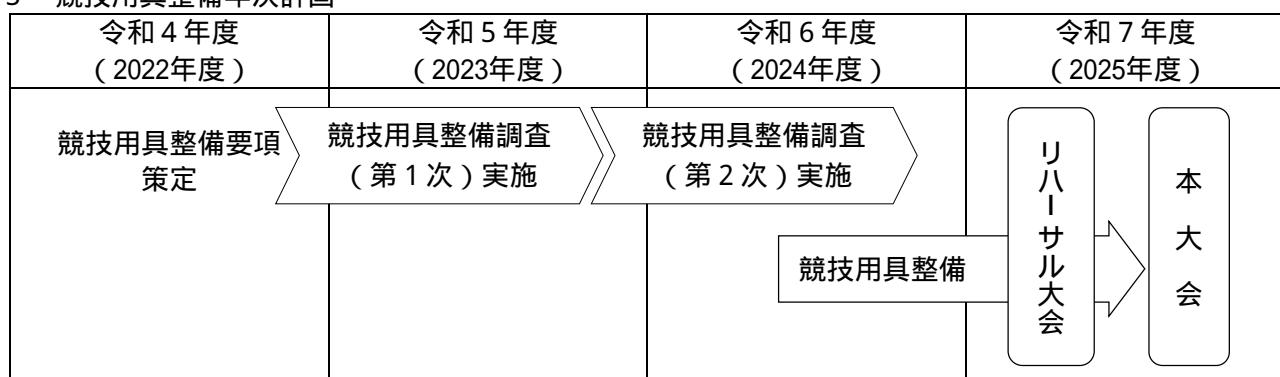
ウ 県内施設、各種団体および民間業者等から借用する。

エ ア～ウによっても不足する場合は、実行委員会が購入する。

4 競技用具の転用および処分

購入した競技用具の転用および処分等については、大会終了後、実行委員会の責任において行う。

5 競技用具整備年次計画



6 その他

この要項に定めるもののほか、競技用具等の整備に関し必要な事項は別に定める。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 手話・要約筆記ボランティア募集要項（案）

1 目的

本要項は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ（以下「両大会」という。）の開・閉会式等において、聴覚障害のある選手、役員および観客に対して、手話または要約筆記等により必要な情報を提供する手話・要約筆記ボランティアの募集等について基本的事項を定めることを目的とする。

2 募集主体

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会（以下「県実行委員会」という。）とする。

3 募集種別および募集人数

種別	人数
手話・筆談・要約筆記（手書き）	550 人
要約筆記（パソコン）	50 人

4 募集期間

令和 5 年（2023 年）10 月 2 日（月）から令和 6 年（2024 年）5 月頃まで。ただし、応募の状況に応じて期間を延長または短縮する場合がある。

5 応募要件

平成 25 年（2013 年）4 月 1 日以前に生まれた者（令和 7 年（2025 年）4 月 1 日時点で 12 歳以上）で次表のいずれかの要件を満たし、かつ、「8(2)活動日」における活動および「10 研修等」への参加が可能な者。（申込み時点で 18 歳未満の者の申込みについては、保護者の同意のある者に限る。）

種別	要件
手話・筆談 要約筆記 (手書き)	手話や筆談に関心のある方 (例)・ろうあ協会会員、中途失聴難聴者協会会員 等 ・手話サークル加入者、手話奉仕員、手話通訳者養成課程修了者・受講者、滋賀県登録手話通訳者 等 ・要約筆記サークル加入者、要約筆記者(手書き)養成課程修了者・受講者、滋賀県登録要約筆記者(手書き) 等
要約筆記 (パソコン)	要約筆記(パソコン)の経験のある方 (例)要約筆記者(パソコン)養成課程修了者・受講者、滋賀県登録要約筆記者(パソコン)等

いずれの種別も障害、資格の有無は問わない。

6 申込方法

ホームページや郵送・FAX等により申し込むものとする。

7 登録・取消

県実行委員会は、応募要件を満たした応募者を、手話・要約筆記ボランティアとして登録する。なお、両大会のイメージを損なう行為等があった場合は、県実行委員会の判断に基づき、登録を取り消すことがある。

8 活動内容および活動日

(1) 活動内容

両大会に参加する聴覚障害者に手話、筆談や要約筆記等により情報提供を行う。

(2) 活動日

区分		活動日（2025年）	場所（予定）
わた SHIGA 輝く国スポ	総合開会式	9月28日（日）	彦根市
	総合閉会式	10月8日（水）	彦根市
わた SHIGA 輝く障スポ	リハーサル 大会	5月24日（土）～25日（日） 予定	大津市、彦根市、長浜市、 近江八幡市、草津市、 守山市、甲賀市、野洲市、 湖南市、高島市、 東近江市、愛荘町
	公式練習	10月24日（金）	
	各競技会	10月25日（土）～27日 （月）	
	開会式	10月25日（土）	彦根市
	閉会式	10月27日（月）	彦根市

上記以外にも、必要に応じて活動することがある。

9 活動日および配置場所の決定

事前に実施する希望調査を参考に関係団体と協議の上、県実行委員会が決定する。

10 研修等

県実行委員会は、活動に必要となる専門的な知識等を習得させるため、登録者を対象とした養成講座、事前研修等を実施する。

11 待遇

- (1) 活動・研修等への参加にかかる報酬は無償とし、交通費は自己負担とする。
- (2) 服飾などの識別用品および活動日の昼食については、必要に応じて県実行委員会が支給する。
- (3) 活動および研修に当たっては、県実行委員会の負担により、「傷害保険」および「賠償責任保険」に加入する。

12 個人情報の取扱い

- (1) 応募者の個人情報については、滋賀県個人情報保護条例その他関係法令の規定に基づき、その保護を図るものとする。
- (2) 登録者の個人情報については、県実行委員会が主催する両大会運営および関連する活動のために使用し、その他の目的には使用しない。ただし、各会場地市町への情報提供について事前に同意している登録者に限り、各会場地市町からの要請に応じて提供することができるものとする。
- (3) 研修や活動の際に登録者を撮影した写真・動画については、両大会の広報を目的とする限りにおいて、県実行委員会のホームページその他広報媒体に掲載できるものとする。

13 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

わた SHIGA 輝く障スポリハーサル大会について

1 目的

大会の競技運営、審判技術等の向上を図るとともに、全国障害者スポーツ大会に対する県民の理解と関心を高める。

2 検討の経過

時期		概要
令和3年度	6月～7月	市町・競技団体・関係機関への意見照会
	10月～	照会結果を踏まえ、日程(案)を作成し、市町・競技団体等と調整
令和4年度	6月 29 日	市町担当者会議において日程(案)を説明
	7月	競技団体担当者会議において日程(案)を説明 全国障害者スポーツ大会知的・精神障害者団体競技近畿地区担当者会議において説明 <参考:7/14> 第 24 回全国障害者スポーツ大会の開催決定

3 日程(案)

意見照会・調整の結果、全競技のリハーサル大会を次の日程とする。

令和7年5月24日(土)～25日(日)

なお、各競技会の競技日程は今後調整する。

4 備考

個人競技(7競技)は、原則、「第 63 回滋賀県障害者スポーツ大会」を充てる。

団体競技(7競技)は、原則、「第 24 回全国障害者スポーツ大会近畿地区ブロック予選会」を充てる。

競技会場は、わた SHIGA 輝く障スポ本大会と同じ会場を使用する。



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025

式典基本計画(案)



目次

式典基本計画策定にあたって	1
1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	2
2 式典の概要		
(1) 式典の基本的な考え方	4
(2) 式典の目指す姿	5
3 わたSHIGA輝く国スポ総合開会式・わたSHIGA輝く障スポ開会式		
(1) 総合開会式・開会式	6
(2) オープニングプログラム・エンディングプログラム	6
(3) 次第	7
4 わたSHIGA輝く国スポ総合閉会式・わたSHIGA輝く障スポ閉会式		
(1) 総合閉会式・閉会式	8
(2) オープニングプログラム・ファイナルステージ	8
(3) 次第	9
5 おもてなし演技		
基本的な考え方	10
6 式典音楽		
(1) 基本的な考え方	10
(2) 音楽隊の編成人数	10
(3) 音楽隊の編成基準	10
(4) 使用曲の構想	11
7 炬火イベント		
(1) 基本的な考え方	12
(2) 炬火イベント基本方針	12
8 各競技会の表彰式		
(1) 内容	13
(2) 実施上の留意点	13
(3) その他	13

式典基本計画策定にあたって

国民体育大会（令和6年（2024年）から「国民スポーツ大会」に名称変更）は、昭和21年（1946年）の第1回大会以来、国民の健康増進と体力向上を図るとともに、地方スポーツの推進と地方文化の発展に大きく寄与し、国内最大のスポーツの祭典として国民に広く親しまれています。

本県では、昭和56年（1981年）に「水と緑にあふれる若さ」をスローガンとした第36回国民体育大会「びわこ国体」を開催し、これを契機として、スポーツの普及・振興を図ってきたところです。また、同年には、「わたしにもこんな力が生きがいが」をスローガンとした第17回全国身体障害者スポーツ大会「びわこ大会」を開催し、障害のある方が力強く競技する姿は多くの県民に大きな感動を与えるました。

そして「びわこ国体」「びわこ大会」から44年ぶりとなる令和7年（2025年）に、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が、再び、この滋賀の地で開催されることとなりました。両大会では、「湖国の感動未来へつなぐ」をスローガンとして、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通り合う郷土づくり、健康・体力の保持増進、競技力の向上を図ります。また、全国から滋賀を訪れる多くの人の交流の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人により、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

中でも、総合開・閉会式をはじめとする両大会の式典は、「滋賀らしさ」「滋賀の魅力」を全国に発信できる絶好の機会となります。全国から訪れた人々を心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残るものにしたいと考えています。

本式典基本計画は、令和2年度（2020年度）に策定した式典基本方針および令和3年度（2021年度）に策定した式典基本構想を踏まえ、式典を構成する具体的な演目についての基本的な考え方や構想等を明らかにし、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の式典を構築していくうえで、県としての方向性を示すものとして策定します。



昭和56年「びわこ国体」開会式の様子

1. 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要

大会名・開催時期・実施競技

第79回国民スポーツ大会

開催時期： 令和7年（2025年）9月28日（日）～10月8日（水）

総合開会式

令和7年（2025年）9月28日（日）

総合閉会式

令和7年（2025年）10月8日（水）

総合開・閉会式会場

彦根総合スポーツ公園陸上競技場

実施競技： 正式競技 37競技

特別競技 1競技

公開競技 7競技

デモンストレーションスポーツ 24競技

第24回全国障害者スポーツ大会

開催時期： 令和7年（2025年）10月25日（土）～10月27日（月）

開会式

令和7年（2025年）10月25日（土）

閉会式

令和7年（2025年）10月27日（月）

開・閉会式会場

彦根総合スポーツ公園陸上競技場

実施競技： 正式競技 14競技

オープン競技 3競技

愛称

わたSHIGA 輝く国スポ

わたSHIGA 輝く障スポ

選手、ボランティアをはじめ、県民、来県者など滋賀県で開催する両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

スローガン

湖国 の 感動 未来 へ つなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。

マスコットキャラクター

キャッフィー

2007年4月27日生まれ。

性別は不明ですが、自分のことを「ぼく」と呼びます。

出身地は琵琶湖・竹生島付近。

性格は、どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。

子ども好きで人を楽しませることが大好きです。

ただ、陸上では疲れやすく、すぐに昼寝をしてしまいます。

得意なスポーツはサッカー、エアロビクス。見た目のわりにスピーディでトランポリンもこなしますが、頭でっかちのせいか走るときよく転びます。

好きな食べ物はエビ。

得意技はキャッフィーターン。

名前は、ナマズの英名『キャットフィッシュ』から付けられました。



チャッフィー

2009年6月13日生まれ。

2つ下の幼なじみで、「キャッフィー」とは昔から仲の良い友達です。

泳ぐことは得意ですが、陸でのスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

少しどんくさい「キャッフィー」のフォローをしようと頑張りますが、たまに空回りしてしまうときもあります。

大会のマスコットキャラクターに選ばれて少し不安そうにしている「キャッフィー」の姿を見て、一緒に大会を盛り上げようと思い琵琶湖からやってきました。



「キャッフィー」と「チャッフィー」の愛称を合わせると「キャッチ」になり、人の心をキャッチする、という意味を込めました。

2. 式典の概要

(1) 式典の基本的な考え方

1

県民総参加のもと、両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動を共有し、ともに支え合う滋賀を発信する式典とする。

2

心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残る式典とする。

3

琵琶湖やそれを囲む山々など豊かな自然と共生する中で培われた環境を大切にする県民の取組を活かし、環境に配慮した式典とする。

4

豊かな自然や歴史、食や伝統芸能をはじめとする文化など、滋賀の魅力を全国に発信する式典とする。

- 企画や演出に創意工夫をこらして、滋賀ならではの魅力を広く全国に発信する式典を目指します。
- 県民が多様な滋賀の魅力を再認識、再発見し、ふるさと滋賀に自信と誇りをもつことができる式典を目指します。

(2) 式典の目指す姿

わたSHIGA あなたが みんなが輝く式典をめざして ～人にやさしい 環境にやさしい 未来にやさしい式典づくり～



滋賀らしい「やさしさ」の発信



近江商人の「三方よし」の精神、「この子らを世の光に」に代表される糸賀一雄さんの福祉の思想と実践、「石けん運動」や「富栄養化防止条例の制定」といった滋賀県民の公共の目的を実現するための行動等、滋賀県には先人から“相手を思いやるやさしさ”が脈々と受け継がれています。

3. わたSHIGA輝く国スポ総合開会式 わたSHIGA輝く障スポ開会式



(1) 総合開会式・開会式

基本的な考え方

- 企画や演出に創意工夫をこらして、広く滋賀のすばらしさを伝える内容とします。
- 年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人が連帯感を感じられる内容とします。
- 全国から訪れる人々を心のこもったおもてなしで迎え、出会いと交流により絆を深める内容とします。
- 式典時間の短縮や演出方法などを検討し、参加する選手や出演者の負担軽減と式典の簡素効率化を目指します。

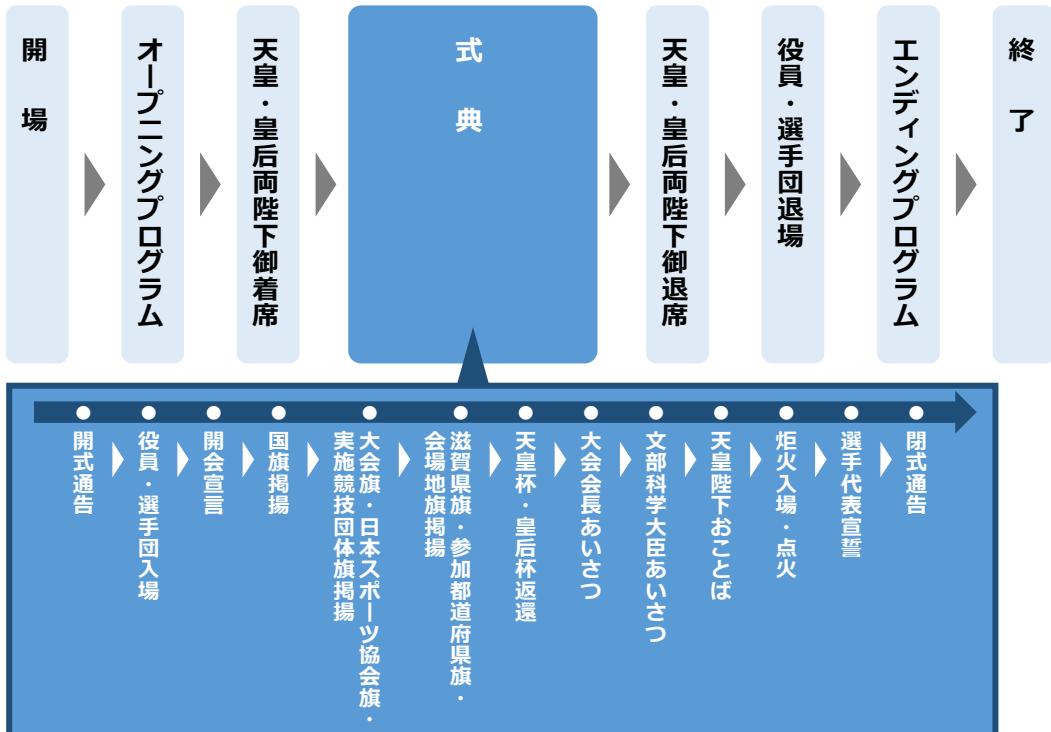
(2) オープニングプログラム・エンディングプログラム

基本的な考え方

- 温かいおもてなしの心をもって、滋賀らしい「やさしさ」を発信し、出演者と観覧者が楽しい時間を共有できる内容とします。
- 企画や演出に創意工夫をこらし、多様な滋賀の魅力を再認識、再発見できる内容とします。
- オープニングからエンディングまで一体感が生まれるようなプログラム構成とします。
- これから始まる「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」への期待感、応援ムードが高まるような内容とします。

(3) 次第

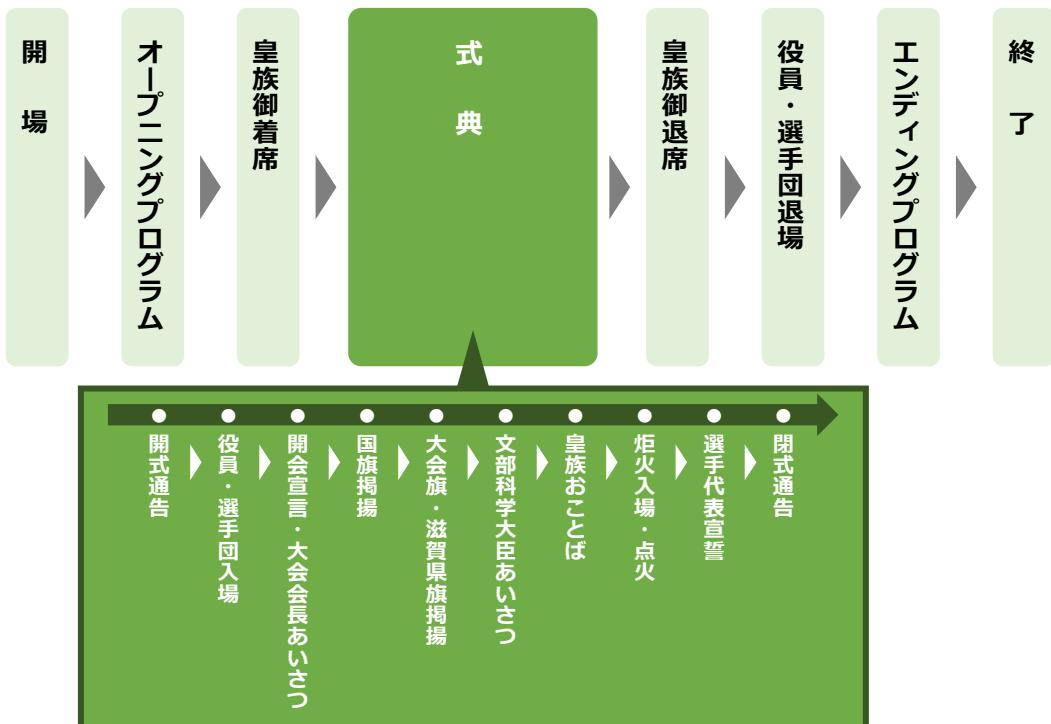
わたSHIGA輝く国スポ 総合開会式



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

※おもてなし演技は、式典に盛り込んで実施することとします。

わたSHIGA輝く障スپ 開会式



※おもてなし演技は、式典に盛り込んで実施することとします。

4. わたSHIGA輝く国スポ総合閉会式 わたSHIGA輝く障スポ閉会式



(1) 総合閉会式・閉会式

基本的な考え方

- 選手たちの健闘を称えるとともに、大会に関わったすべての人に対する感謝の気持ちを表現した内容とします。
- 全国から訪れた人々と県民との絆や、大会で生まれた感動をさらに深める内容とします。
- 次期開催の「青の煌めき あおもり国スポ・障スポ」へエールを送る内容とします。
- 国スポの盛り上がりを「わたSHIGA輝く障スポ」につなげる内容とします。（総合閉会式）

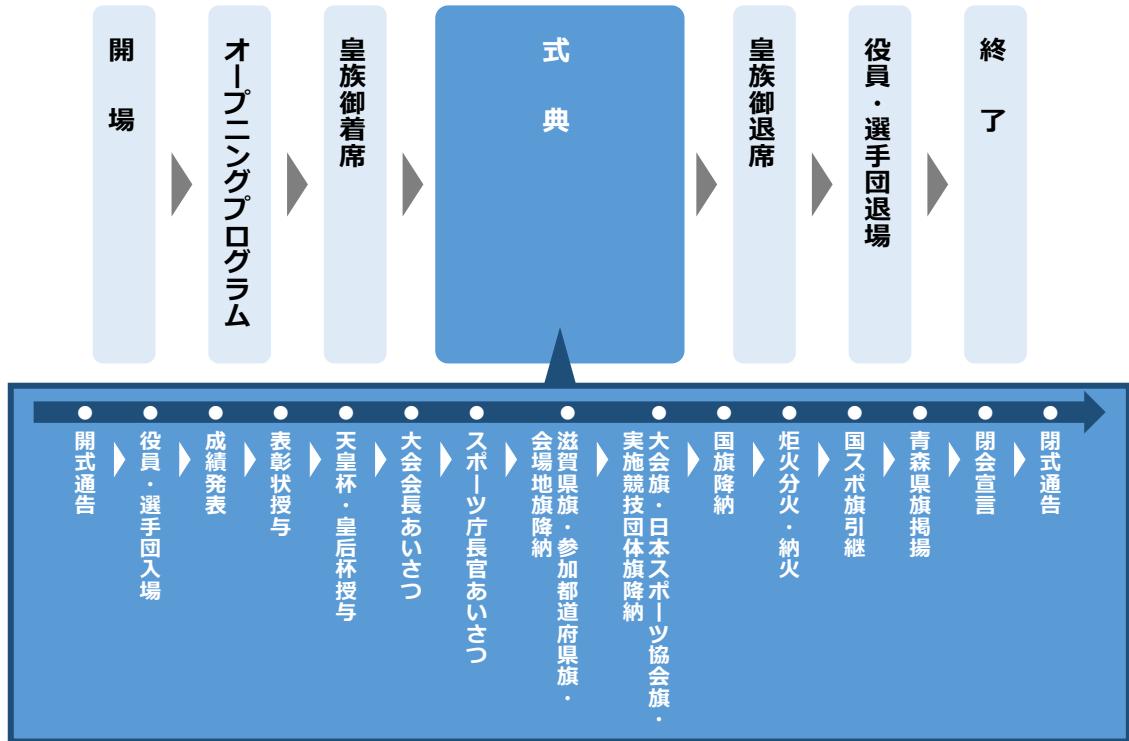
(2) オープニングプログラム・ファイナルステージ ※ファイナルステージは障スポのみ

基本的な考え方

- 温かいおもてなしの心をもって、滋賀らしい「やさしさ」を発信し、出演者と観覧者が楽しい時間を共有できる内容とします。
- 企画や演出に創意工夫をこらし、多様な滋賀の魅力を再認識、再発見できる内容とします。
- 選手とともに熱戦を振り返り、選手の健闘を称えるとともに、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に関わったすべての人に感謝の気持ちを表現した内容とします。
- 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を通じて生まれた夢や感動を、参加したすべての人で共有し合い、未来へつなぐ内容とします。
- 「わたSHIGA輝く国スポ」の総合閉会式では、後に続く「わたSHIGA輝く障スポ」への期待が高まるような内容とします。

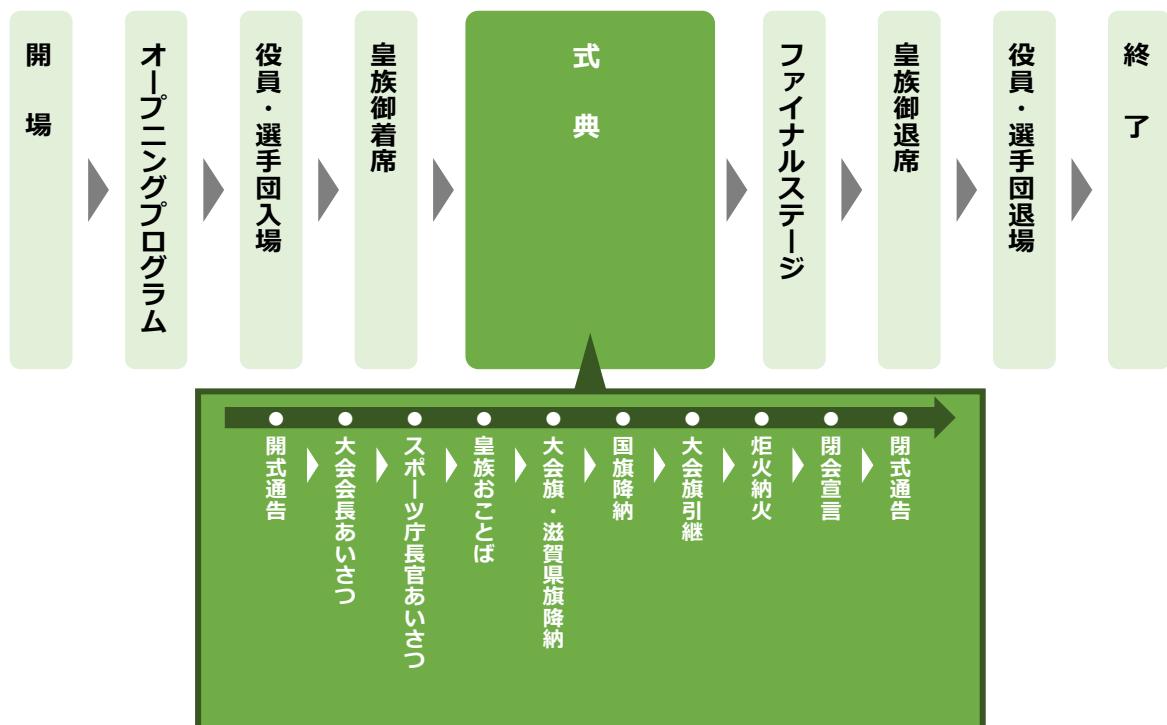
(3) 次第

わたSHIGA輝く国スポ 総合閉会式



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会との協議を踏まえ正式に決定します。

わたSHIGA輝く障スポ 閉会式





5. おもてなし演技

基本的な考え方

- 豊かな自然や歴史・文化などの滋賀の魅力や、滋賀らしい「やさしさ」を全国に発信するとともに、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」への期待感を高める構成とします。
- 出演者と選手・観覧者との間に一体感を創出し、参加したすべての人の記憶に残る内容にするとともに、全国から滋賀にお越しいただいた方々に「おもてなし」の心が伝わる構成とします。
- 「わたSHIGA輝く国スポ」と「わたSHIGA輝く障スポ」の演技内容を統一し、一体感のある構成とします。



6. 式典音楽

(1) 基本的な考え方

- 滋賀らしい「やさしさ」を表現した音楽で、参加するすべての人の記憶に残る式典音楽を目指します。
- 滋賀にゆかりのある楽曲などを取り入れるとともに、式典音楽の構成を工夫し、滋賀ならではの魅力ある式典音楽を目指します。
- 「わたSHIGA輝く国スポ」と「わたSHIGA輝く障スポ」の一体感を感じることができるものとします。

(2) 音楽隊の編成人数

楽隊別	人 数
吹奏楽	今後検討
ファンファーレ	今後検討
合唱	今後検討

(3) 音楽隊の編成基準

音楽隊の編成にあたっては、次に掲げる視点を大切にし、日常的な活動が活発で、一定の演奏水準が維持でき、各種練習会、リハーサル、総合開・閉会式に地理的・時間的条件において参加が可能な個人および代表の承認を得ている団体から選出することとします。

- わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開・閉会式の基本的な考え方や式典の目指す姿を表現できる音楽隊を編成します。
- 滋賀県が培ってきた文化、芸術を発信するのにふさわしい音楽隊を編成します。
- 子どもたちが活躍し未来へつながる音楽隊を編成します。

(4) 使用曲の構想

わたSHIGA輝く国スポ 総合開会式／わたSHIGA輝く障スポ 開会式

場面	わたSHIGA輝く国スポ	わたSHIGA輝く障スポ
開式通告		ファンファーレⅠ
役員・選手団入場		入退場行進曲
開会宣言		ファンファーレⅡ
国旗掲揚		君が代
大会旗等掲揚	若い力	空よ大地よ
県旗等掲揚	滋賀県民の歌	
天皇杯・皇后杯返還	表彰関連曲	—
炬火入場・点火		炬火曲Ⅰ
選手代表宣誓		ファンファーレⅢ
閉式通告		ファンファーレⅣ
役員・選手団退場		入退場行進曲による

♪については、大会用に新たに滋賀県で作曲または編曲することとします。

わたSHIGA輝く国スポ 総合閉会式／わたSHIGA輝く障スポ 閉会式

場面	わたSHIGA輝く国スポ	わたSHIGA輝く障スポ
開式通告		ファンファーレⅠ
役員・選手団入場		入退場行進曲
表彰状、天皇杯・皇后杯授与	見よ勇者は帰りぬ（得賞歌）	—
県旗等降納	滋賀県民の歌	空よ大地よ
大会旗等降納	若い力	
国旗降納		君が代
炬火分火・納火		炬火曲Ⅱ
国スポ旗・大会旗引継		青森県指定の楽曲
次期開催県旗掲揚	青森県民の歌	—
閉会宣言		ファンファーレⅤ
閉式通告		ファンファーレⅣ
役員・選手団退場		入退場行進曲による

♪については、大会用に新たに滋賀県で作曲または編曲することとします。



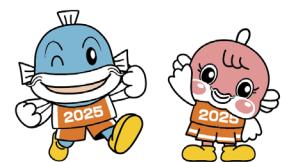
7. 炬火イベント

(1) 基本的な考え方

- 地域の特色を生かしながら、簡素な中にも創意工夫をこらし、環境にやさしく豊かな自然や歴史・文化などの滋賀の魅力があふれる内容とします。
- 年齢、性別、障害のあるなしを問わず、多くの県民が参加することにより、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」への機運を盛り上げるとともに、地域の連帯感を高める内容とします。
- 県民自らの手で採火等を行うことにより、県民総参加につながる、活気あふれる内容とします。
- 「わたSHIGA輝く国スポ」と「わたSHIGA輝く障スポ」の一体感を感じることができるとができる内容とします。

(2) 炬火イベント基本方針

- 炬火は、県内全市町で採火を行い、保管します。
- 採火した炬火は、各市町が実施する催しで活用することができます。
- 実施にあたっては、環境にやさしく、琵琶湖等の滋賀の自然を活用するなど滋賀の魅力あふれる内容とします。
- 実施にあたっては、簡素・効率化を心がけながらも、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の開催を身近に感じられるイベントになるよう、工夫をこらしたものとします。
- 各市町で採火した炬火を一つに集火し、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の総合開会式・開会式において炬火台に点火します。



8. 各競技会の表彰式

第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」における各競技会の表彰式については、「国民体育大会開催基準要項」および「同細則」に基づき、会場地市町実行委員会等が関係競技団体と協議のうえ、次のとおり実施することができるものとします。

(1) 内容

各競技会の表彰式は、概ね次のとおりとします。

- ① 開式通告
- ② 成績発表
- ③ 表彰状授与
- ④ 大会会長トロフィー授与
- ⑤ 競技会会長閉会のあいさつ
- ⑥ 会場地代表歓送のことば
- ⑦ 国旗降納
- ⑧ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町旗降納
- ⑨ 競技会終了宣言
- ⑩ 閉式通告

(2) 実施上の留意点

- ① 表彰式の実施にあたっては、種目、種別ごとの表彰も含め、簡素化に努めるものとします。
- ② 表彰式の内容および所要時間は、選手のコンディションに配慮したものとします。
- ③ 1競技が複数会場地市町にわたる場合は、当該市町実行委員会等と競技団体が十分協議のうえ、実施します。
- ④ 大会会長トロフィーは、表彰式において授与するまでの間、表彰式を実施する会場地市町実行委員会等が責任を持って保管します。
- ⑤ 特別競技およびデモンストレーションスポーツにかかる表彰式については、上記(1)に準じます。ただし、大会会長トロフィー授与は除きます。
- ⑥ 公開競技は中央競技団体が表彰式の内容等を決定します。

(3) その他

この取扱いに定めるもののほか、表彰式の実施に必要な事項については、会場地市町実行委員会等が競技団体および関係機関と協議のうえ、別に定めることとします。

2025 わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ

●実施競技

国民スポーツ大会

正式競技 37競技

特別競技 1競技

公開競技 7競技

全国障害者スポーツ大会

正式競技 14競技

[身] = 身体障害者

[知] = 知的障害者

[精] = 精神障害者

近江八幡市



高島市



野洲市



※ラグビーフットボールについては、滋賀県が準備運営を行います。

守山市



草津市



大津市



競技会場地マップ

R5.1月 現在

県外開催
競技

京都府
向日市

大阪府
豊能郡
能勢町

兵庫県
三木市



自転車
(トラック・レース)



ライフル射撃
(50m, 10m, BR・BP)



馬術

※県外開催競技については、滋賀県が準備運営を行います。

長浜市



彦根市



長浜市

米原市

米原市

ホッケー

(準備運営)滋賀県・彦根市・
豊郷町・甲良町・多賀町

(競技会場地)彦根市



愛荘町



東近江市



東近江市

日野町

湖南市



日野町

竜王町



栗東市



甲賀市



高等学校野球(軟式)

※サッカーについては、①大津市・甲賀市(少年女子)、
②守山市・甲賀市(少年男子)が準備運営を行います。



カヌー(スラローム、
ワイルドウォーター)

空手道



高等学校野球(硬式)



バスケットボール
[知]

車いす
バスケットボール[身]

イメージソング

シャイン！！

作詞・作曲：yokko 編曲：猪原もとき

扉あけて 大きく深呼吸
どんな空模様でも 素敵な1日

始まる わたしだけのストーリー
一人一人 色とりどり
それぞれみんなが主役なんだ 最高の笑顔でさあ行こう！

わたSHIGA輝くものをみつけてみよう
わたSHIGA輝く場所を探しにゆこう

時は巡り カタチは変わるけど
今この時だから 出会えるものがある

広がる みんなの夢と希望
期待に高鳴る胸の鼓動
未来へつなぐ湖国の感動 想像を行動へレッツゴー！

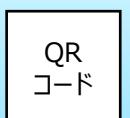
あなたが輝くものをみつけてみよう
あなたが輝く場所を探しにゆこう

わたSHIGA輝くものをみつけてみよう
わたSHIGA輝く場所をさがしにゆこう
あなたが輝くものをみつけてみよう
あなたが輝く場所をさがしにゆこう
みんなが輝く滋賀！！



滋賀県文化スポーツ部国スポ・障スポ大会局

〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
HP : <https://www.pref.shiga.lg.jp/2024/index.html>
TEL : 077-528-3334 FAX : 077-528-4836



2025しが国スポ

検索





説明事項 1－2

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ

式典基本計画（中間案）にかかる意見照会の結果について

【令和4年11月29日付わ輝滋実委第179号全国障害者スポーツ大会専門委員会委員に対する意見照会】

1 式典基本計画（中間案）の記載について

所属	該当箇所	意見の内容	事務局の考え方
社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会	5P 式典の目指す姿	滋賀らしい「やさしさ」の発信において、発信先として「身体」「郷土」「大会」「琵琶湖」「自然」と記載されているが、先人からの“相手を思いやるやさしさ”から思い浮かぶのは、まず「人(福祉)」や「共生社会」ではないか。「人」へのやさしさが漏れている。	式典の基本的な考え方の中で、障害に対する理解を深め、多様性を尊重し、共生社会づくりのきっかけとなる式典を目指すこととしております。 御意見も踏まえ、「人」へのやさしさをどのように発信していくことができるか、今後検討してまいります。
滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課	5P 式典の目指す姿	『「社会福祉の父」とも呼ばれる糸賀一雄さんの社会的弱者へのやさしいまなざし』という記載を『「この子らを世の光に」に代表される糸賀一雄さんの福祉の思想と実践』に変更願いたい。	御意見のとおり修正いたします。 今後、糸賀一雄さんの思想も踏まえ、どのような形で、滋賀らしい式典としていくか、具体的に検討してまいります。

2 その他について

所属	意見の内容	事務局の考え方
社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会	・国歌の手話表現について、今後手話言語訳が認められるなど、法律の改正が行われた場合、国歌の手話表現について速やかに対応願いたい。なお、全日本ろうあ連盟は『国歌「君が代」手話言語試行版』を公開している。	今後の動きについて注視しながら、検討してまいります。
	・式典および開・閉会式のTV放送には、手話と字幕をつけていただきたい。	御意見も踏まえ、放映については、関係機関と、今後調整してまいります。

社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> 司会進行やアナウンスで、会場のレイアウトや会場の様子、オープニングプログラム、ファイナルステージ等の動きなどを音声で伝えることが必要。 スマホや音声ガイド機器を使ってもらい、副音声で配信する方法も考えられる。 	御意見も踏まえ、視覚障害がある方や会場全体を見渡せない方にも、臨場感が伝わるよう、今後、検討を進めてまいります。
--------------------	---	--

【令和4年12月7日付滋国障ス第163号全庁に対する意見照会】

1 式典基本計画（中間案）の記載について

所属	該当箇所	意見の内容	事務局の考え方
しがCO ₂ ネットゼロ推進課	4P 式典の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 「CO₂削減」という表記を「CO₂排出量の削減」に修正いただきたい。 (理由)今ままでも意味は分かるが、正確な記載では、「CO₂排出量の削減」となる。当室においても、こちらの文言が一般的な表記となる。 	<p>貴所属の取組、方針に基づいた文言および写真・ロゴに修正いたします。</p> <p>今後、頂いた御意見も踏まえ、どのような形で滋賀らしい式典としていくか、具体的に検討してまいります。</p>
健康しが企画室	5P 式典の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> イメージ写真のロゴ背景を別途差し替えていただきたい。 「身体へのやさしさ」は「心身へのやさしさ」の方がふさわしい。 (理由)コロナを経験し、当室ではこころの健康についても考え始めている。 	
しがCO ₂ ネットゼロ推進課	5P 式典の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> イメージ写真のロゴ背景を別途差し替えていただきたい。 「しがCO₂ネットゼロ」という表記を「しがCO₂ネットゼロムーブメント」に修正いただきたい。 (理由)「CO₂ネットゼロ」では全国的な取組を指すこととなり、滋賀県での取組として示すのであれば、正式名は「しがCO₂ネットゼロムーブメント」となる。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・「自然へのやさしさ」を「地球へのやさしさ」に修正いただきたい。 <p>(理由)自然へのやさしさでは限りある生態系の保全というイメージ。CO₂排出量の削減においては、地球温暖化防止を目指していることから、大気層の話にまで及ぶ。「自然」では対象が狭いと感じる。当課においても、「自然」という文言はあまり使用しない。</p>	
観光振興局(シガリズム)	5P 式典の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ写真のロゴ背景を別途差し替えていただきたい。 	
琵琶湖保全再生課 (マザーレイクゴールズ)	5P 式典の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ写真のロゴ背景を別途差し替えていただきたい。 	
教育総務課	10P 音楽隊の編成基準	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽隊に児童生徒が参加することを想定しているならば理解はできるが「未来へつながる」は表現が抽象的であり、意味がわかりにくい。 	<p>御意見のとおり、音楽隊の編成には児童生徒の参加を想定していることから、このような表現としております。</p> <p>「未来へつながる」は、音楽隊に関わる経験が、未来を担う子どもたちの豊かな心の育成につながることや後世に語り継いでもらうことなどの想いから、こうした表現としております。</p>

2 その他について

所属	意見の内容	事務局の考え方
スポーツ課	炬火イベントについては栃木国体の事案(トーチの固形燃料が落ちてトラックを損傷した事象)を踏まえ、安全性を考慮してほしい。	先催県の事例も検証し、安全性を考慮して実施できるよう十分に検討してまいります。

障害福祉課	障害種別ごとに配慮が必要な内容が異なり、障害福祉課で確認しても抜け漏れが出ることが想定される。「共生社会滋賀」をアピールするためにも障害配慮等の要否やその内容については、できるだけ障害種別ごとの団体等の意見を聞くことについて配慮いただきたい。	式典の基本的な考え方の中で、障害に対する理解を深め、多様性を尊重し、共生社会づくりのきっかけとなる式典を目指すこととしております。関係団体の御意見を聞くことも含め、どのような形で進めていくのがよいか検討してまいりますので、御協力をお願いいたします。
-------	---	--

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 開・閉会式会場等整備基本計画(案)

湖国の感動 未来へつなぐ



令和5年（2023年）1月

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会

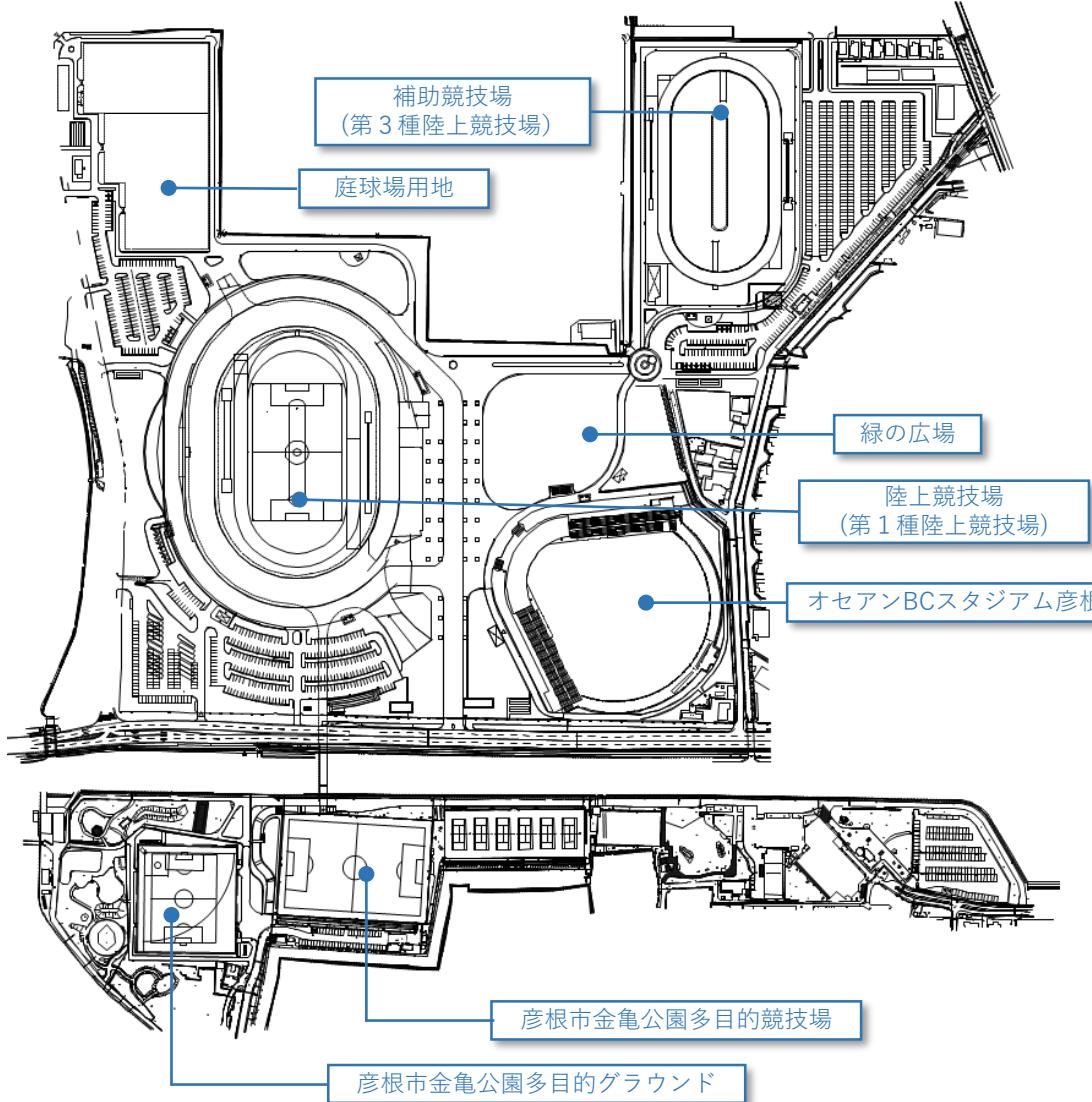
1 開・閉会式会場等の現況

彦根総合スポーツ公園の施設概要	3
-----------------	---

2 開・閉会式会場等の整備

(1) 開・閉会式会場等整備の基本的な考え方	4
(2) 会場装飾の考え方	5
(3) ユニバーサルデザインの考え方	6
(4) ゾーニング・動線の基本的な考え方	7
(5) ゾーニング計画 国スポ・障スポ	8
(6) 動線計画 国スポ・障スポ ア 集合時 選手・監督等 / 一般観覧者 (開・閉会式共通)	9
イ 集合時 演技出演者 (開・閉会式共通)	10
ウ 解散時 演技出演者 (開・閉会式共通)	11
エ 解散時 選手・監督等 / 一般観覧者 (開・閉会式共通)	12
(7) 会場転換計画	13
(8) 整備スケジュール	14

彦根総合スポーツ公園の施設概要



●名称

彦根総合スポーツ公園

●所在地

彦根市松原町 3028 (第1種陸上競技場)

●概要

彦根総合スポーツ公園は、昭和14年に滋賀県立彦根総合運動場として県民の心身の健全な発達とスポーツ普及振興をはかる目的で陸上競技場と野球場を設置し、開設された施設であり、現在は県民のスポーツ拠点として機能を強化とともに、世代をこえて人々に長く愛着を持って利用される多様な機能を備えた公園として、彦根城をはじめとする周辺の景観などと調和を図りながら再整備されています。第1種陸上競技場は、彦根城の世界遺産登録に向けた取組や防災機能の強化等に配慮した建物形状、競技者の使い易さや構造安全性、環境負荷の低減等を総合的に考慮した設計としています。

●公園内の主な施設および周辺施設

陸上競技場 (第1種陸上競技場)、補助競技場 (第3種陸上競技場)、オセアンBCスタジアム彦根、緑の広場、彦根市金龜公園多目的競技場(彦根市)、彦根市金龜公園多目的グラウンド(彦根市)

(1) 開・閉会式会場等整備の基本的な考え方

国スポ・障スポの開・閉会式の会場整備においては、安全性・快適性・効率性の他、MLGsの考え方やゴールを念頭に置いて計画する。

安全性の重視

選手、出演者、観覧者など、すべての人たちの安全性を確保できる会場づくりを行う。



危険箇所の養生
(イメージ)



フェンスによる区画
(イメージ)

機能性・快適性の確保

必要な機能を有した施設を適正に配置し、すべての人たちが快適に利用できる会場づくりを行う。



トイレ案内サイン・音声誘導装置
(イメージ)



多目的トイレ
(イメージ)

効率性の追求

既存施設を最大限有効活用し、仮設物を最小限に抑えた会場づくりを行う。



既存施設利用
(イメージ)



既存施設利用
(イメージ)

環境への配慮

MLGsの13のゴールを念頭において会場整備を計画する。

製作物は大会後の利用を見込んで計画する。



リース仮設物利用
(イメージ)



ゴミの分別回収
(イメージ)

荒天・熱中症・感染症対策

近年の気候変動による荒天、高温などの気象状況や感染症のまん延防止に対応できる会場づくりを行う。



強風対策をしたテント
(イメージ)



スポットクーラーの設置
(イメージ)

滋賀の魅力発信

可能な限り滋賀県産の素材を活かした装飾や飾花とし、「滋賀」の魅力を発信できる会場づくりを行う。



県産材の利用例
(イメージ)



滋賀をイメージした会場装飾
(イメージ)

(2) 会場装飾の考え方

全国から参加される皆様を「滋賀」らしい温かいおもてなしの心で歓迎するため、滋賀県産の素材を活かした装飾や飾花に滋賀らしさを取り入れ、大会全体の雰囲気を盛り上げます。

会場装飾

統一感のあるデザインや調和の取れた色彩に配慮し、マスコットキャラクターである「キャッフィー」「チャッフィー」や伝統工芸品など、滋賀にゆかりある素材を効果的に活用した会場装飾を行います。



- ▼ 欢迎ゲート、歓迎看板
- ▼ 歓迎のぼり、バナー装飾
- ▼ イベントスペースの装飾
- ▼ 各種サイン
- ▼ フォトスポット 等



会場飾花

県民参加の手づくり感あふれる飾花などを来場者の動線上に飾りつけることにより、来場するすべての人へおもてなしの心を表現し、華やかな会場づくりを行います。



- ▼ ロイヤル飾花
- ▼ デザイン飾花
- ▼ プランター飾花 等



(3) ユニバーサルデザインの考え方

障害のある方や高齢者等すべての人に配慮した次のような考え方で会場づくりを行います。

安全性に配慮した会場づくり

会場内の段差等を解消するなど、安全性に最大限配慮した会場づくりを行います。

- ◎ 仮設スロープによる段差解消
- ◎ 車いす利用者等の動線確保
- ◎ 段差識別表示による安全な足元対策
- ◎ 仮設敷板による安全な動線の確保



仮設スロープ（イメージ）

わかりやすい会場づくり

目的に応じた識別しやすい各種サインを配置するなど、誰もがわかりやすい会場づくりを行います。

- ◎ 視認性に配慮した文字や色彩に対応したサインの適正な配置
- ◎ 音声ガイダンスによる会場誘導
- ◎ 車いす貸出など各種サービスを提供できる総合案内所の配置



総合案内所（イメージ）

利用しやすい会場づくり

仮設トイレ・休憩スペースの適正配置や、聴覚障害者のための情報保障席の設置など、すべての方が快適で利用しやすい会場づくりを行います。

- ◎ 利用者を考慮した仮設トイレの適正配置
- ◎ テント等による休憩スペースの適正配置
- ◎ 式典会場およびおもてなし広場における聴覚障害者のための情報保障席の設置
- ◎ バリアフリートイレ（性別によらず誰でも使えるトイレを含む）の設置



仮設トイレ（イメージ）

(4) ゾーニング・動線の基本的な考え方

ゾーニングの基本的な考え方

- ◎ゾーンを明確に区分し、すべての人が安全に利用できるゾーニングを行います。
- ◎参加者が利用しやすく、関連するゾーンが有効に機能するゾーニングを行います。
- ◎各ゾーンを適正規模とし、国スポ総合開会式から障スポ閉会式まで仮設物の転換が最小限となるようにゾーニングを行います。

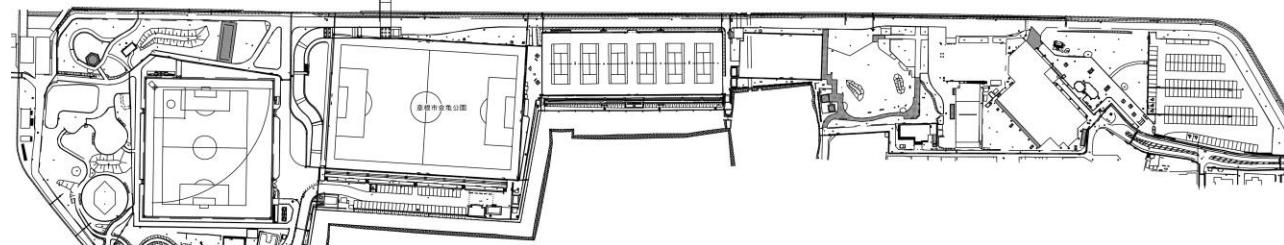
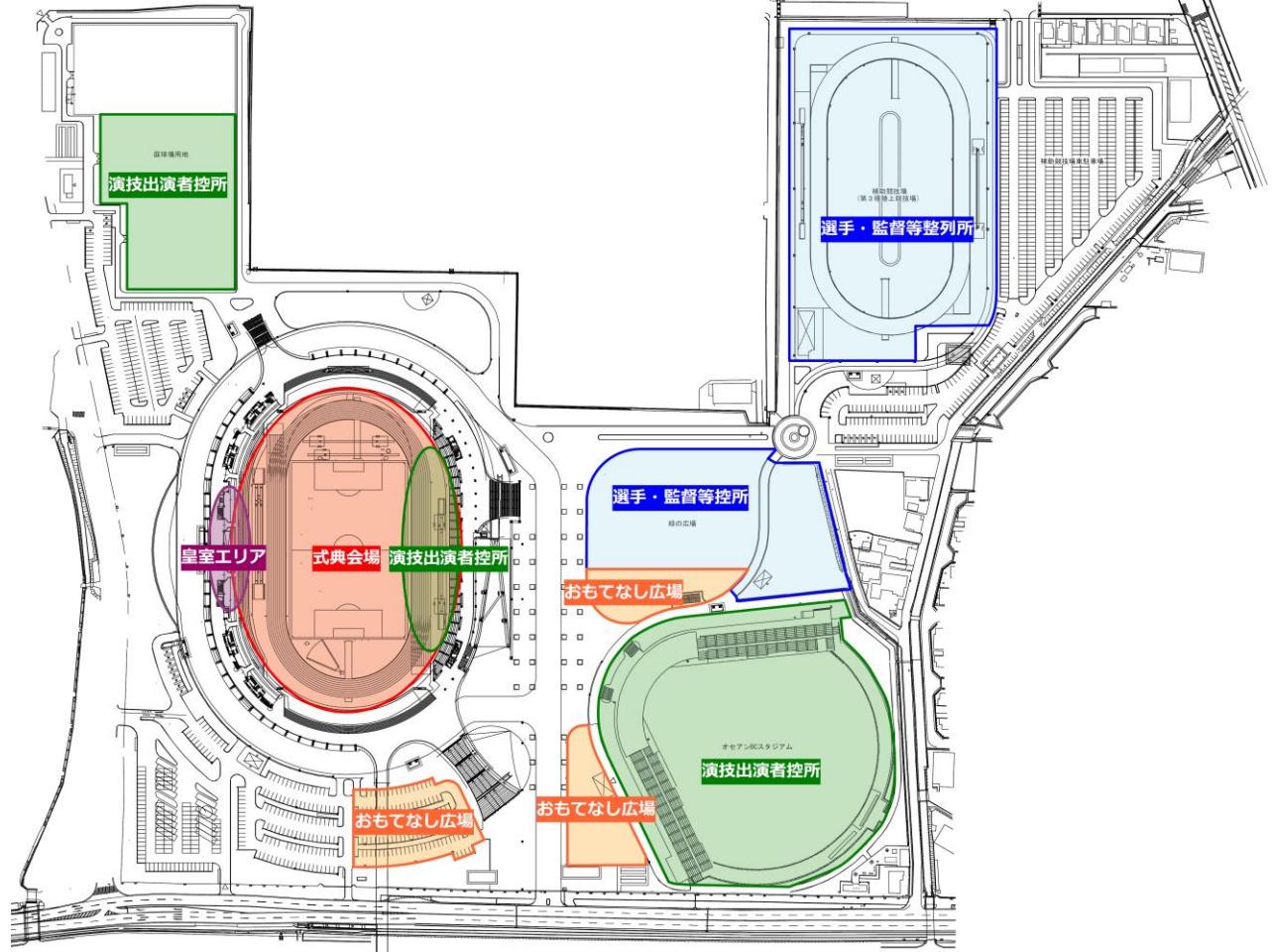
動線の基本的な考え方

- ◎ロイヤル動線を他の動線と区分・分離して設定します。
- ◎動線は、参加者毎に選手・監督等、一般観覧者、演技出演者等に区分し設定します。
- ◎ゾーン配置や時間差を考慮し、動線ができる限り交差しないように計画します。

ゾーン区分	内容	動線区分	内容
皇室 (ロイヤル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイヤルボックスは、式典会場メインスタンド中央に配置し、式典会場全体が見渡せる視界を確保します。 ・安全確保を最優先します。 	皇室 (ロイヤル)	<ul style="list-style-type: none"> ・行幸啓・お成り等の歓迎に配慮し、安全確保を最優先します。 ・皇室関係車両の移動ルートおよび駐車スペースに十分配慮します。
選手・監督等控所	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩場所や荷物置場となる控所は、選手・監督等整列所にできる限り近い場所に配置します。 	大会役員・招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・受付および入退場口を一般観覧者用と区別し、動線が交差しないように配慮します。
選手・監督等 整列所	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な入場行進に必要な整列所は、選手・監督等が整列できるスペースを確保できる場所に配置します。 	選手・監督等	<ul style="list-style-type: none"> ・計画バス駐車場から控所、整列所、式典会場までの動線について、他の動線と極力交差しないように配慮します。
演技出演者控所	<ul style="list-style-type: none"> ・式典会場に近い屋根のある場所を利用します。 ・人数規模に合わせたスペースを確保します。 	一般観覧者	<ul style="list-style-type: none"> ・大人数が円滑に入退場できるように、入退場口を適切に配置します。
売店・休憩所等 (おもてなし広場)	<ul style="list-style-type: none"> ・売店、飲食ができる休憩所、催しを行うステージ、PRブースなどの諸施設を整備し、来場者をお迎えします。 	演技出演者	<ul style="list-style-type: none"> ・計画バス駐車場から控所、式典会場までの動線について、他の動線と極力交差しないように配慮します。
報道関係	<ul style="list-style-type: none"> ・報道席は式典会場スタンドの効率的な報道が行える位置に配置します。 ・式典会場近くに中継車両等の駐車場所を確保します。 	報道員	<ul style="list-style-type: none"> ・報道専用ゲートを設けるなど、円滑に移動できるように配慮します。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の駐車場が非常に少ないため、周辺施設を含めて利用可能な駐車場を調査、検討します。 ・一部の来場者は彦根駅からの徒歩も検討します。 		

(5) ゾーニング計画

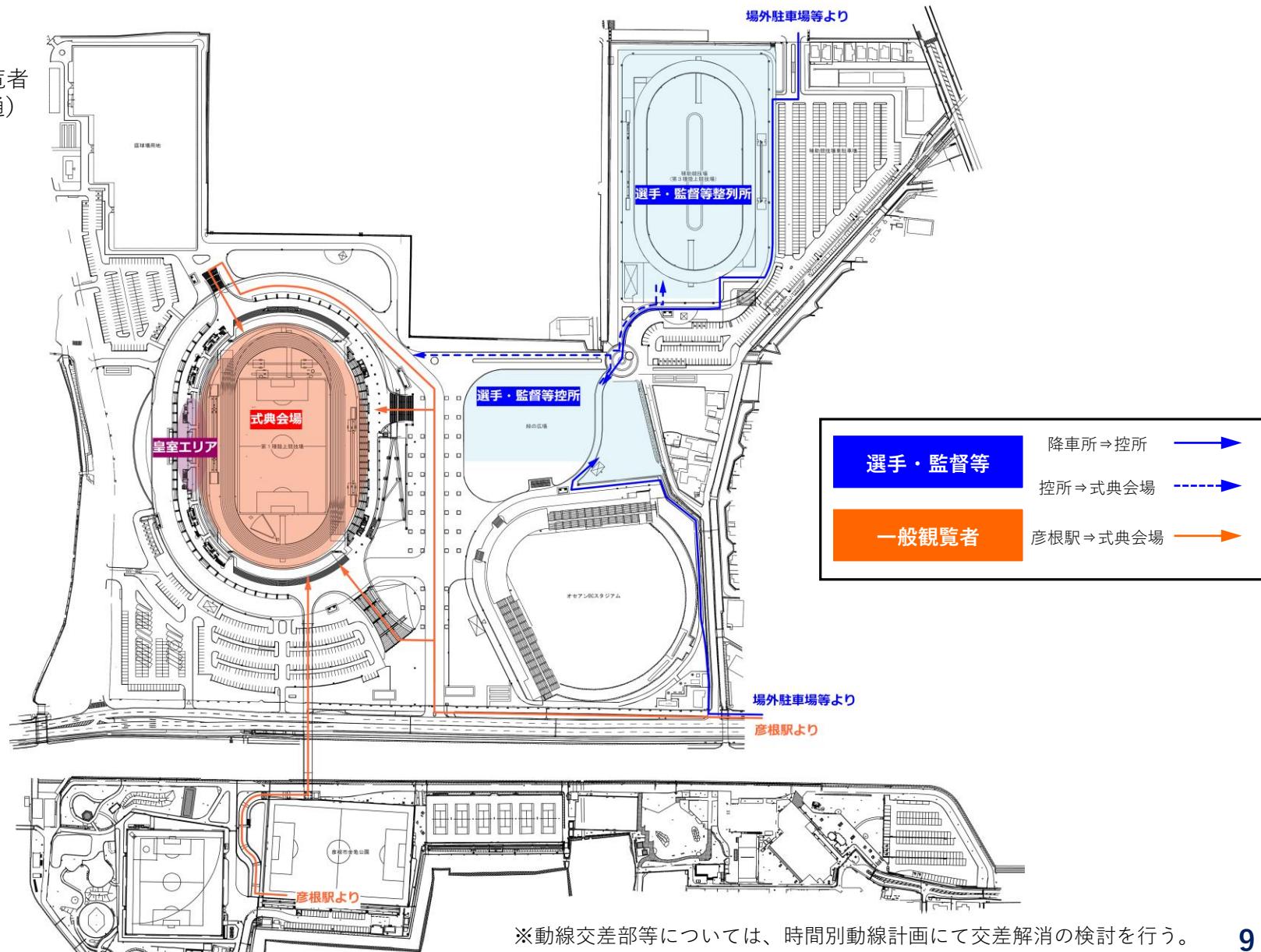
国スポ・障スポ



(6) 動線計画

国スポ・障スポ

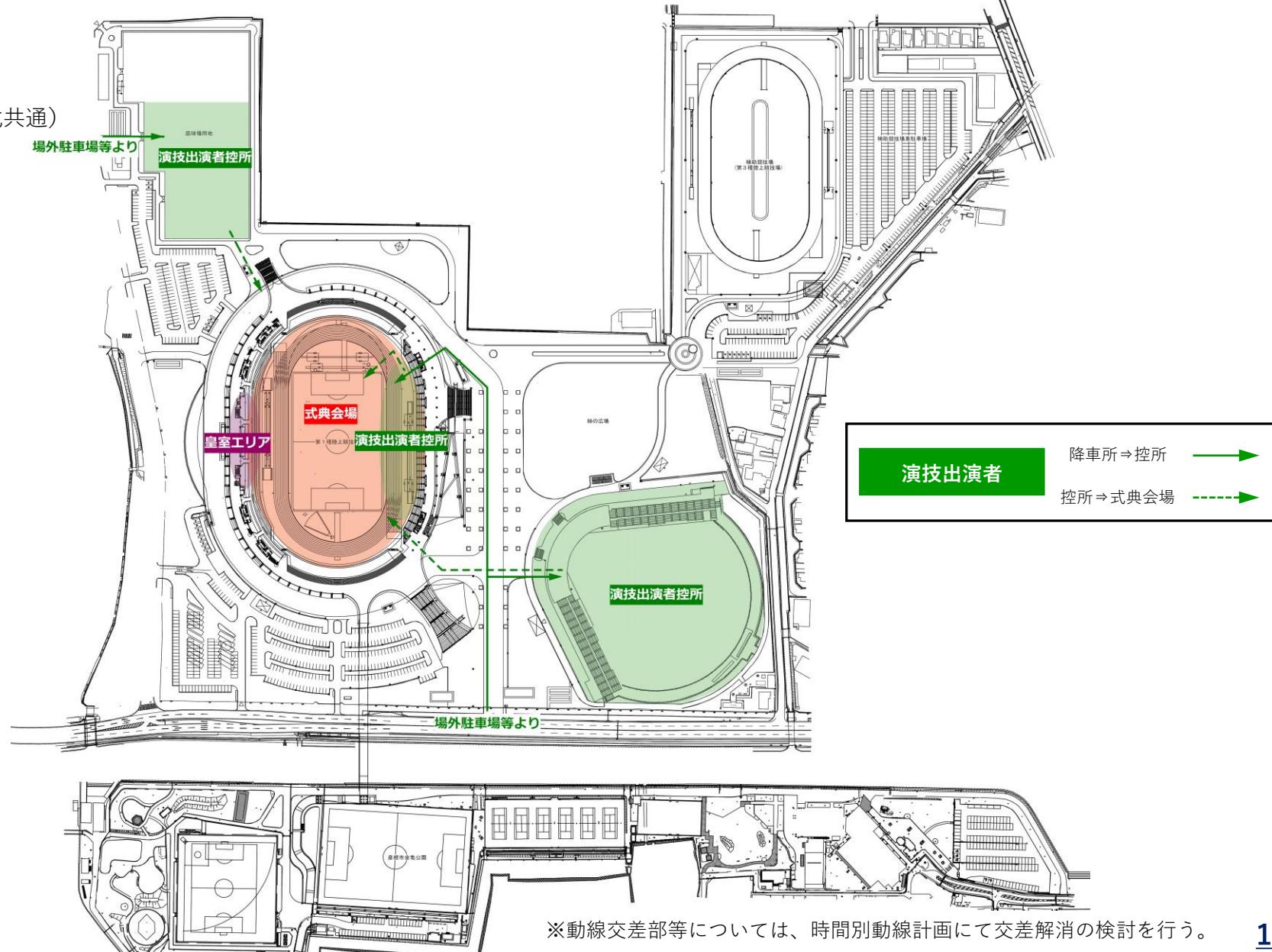
ア 選手・監督等 / 一般観覧者
集合時（開・閉会式共通）



(6) 動線計画

国スポ・障スポ

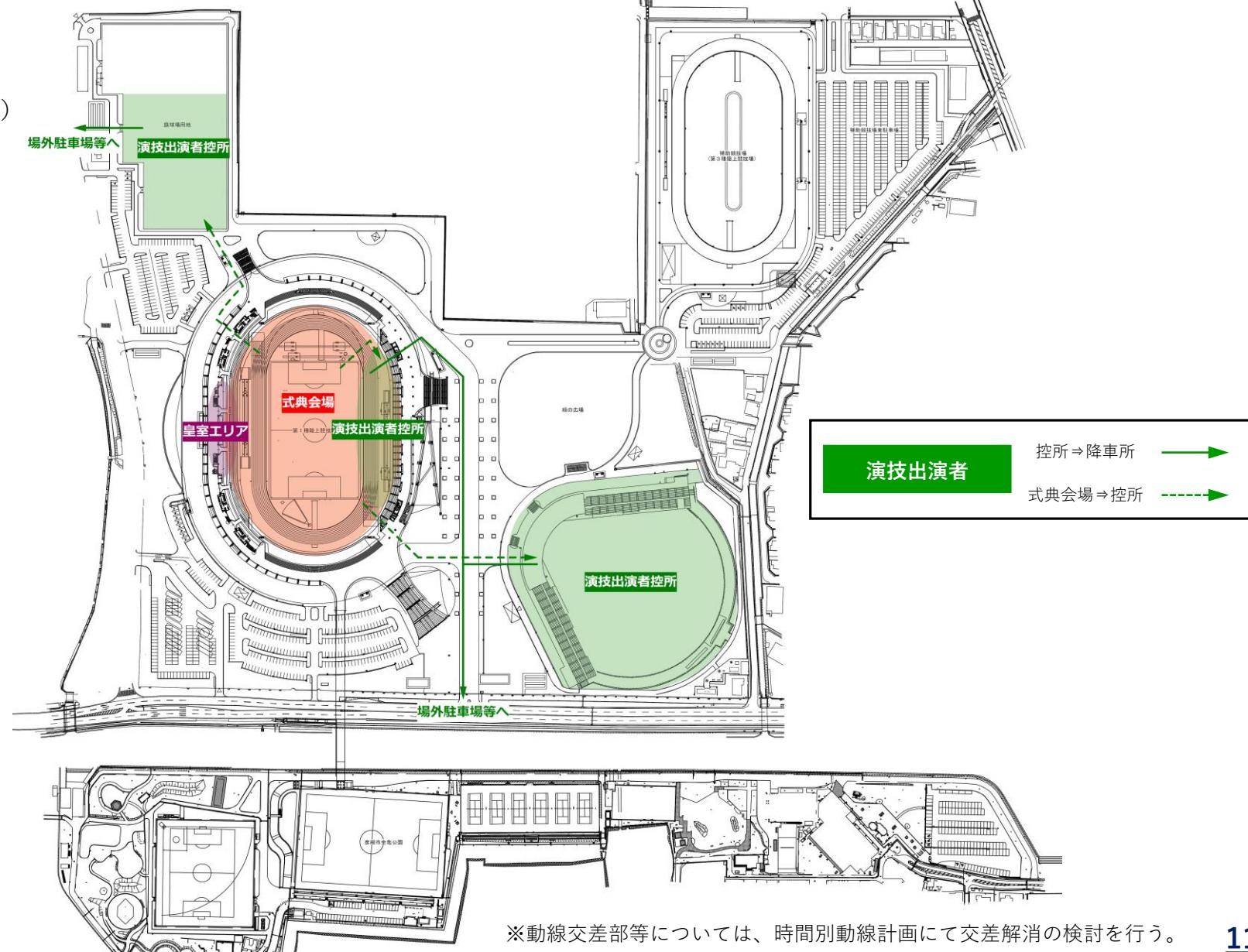
イ 演技出演者
集合時（開・閉会式共通）



(6) 動線計画

国スポ・障スポ

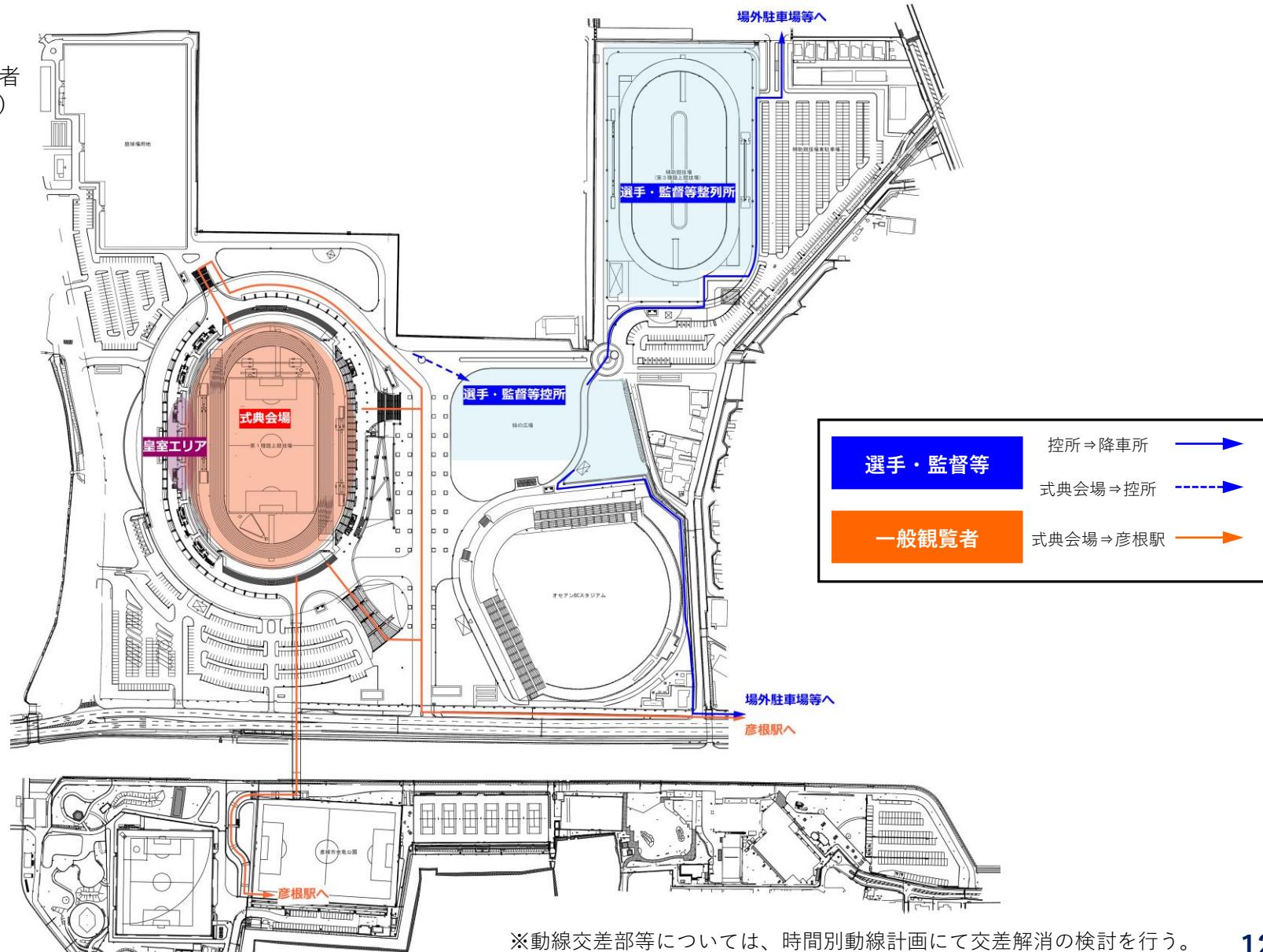
ウ 演技出演者
解散時（開・閉会式共通）



(6) 動線計画

国スポ・障スポ

エ 選手・監督等 / 一般観覧者
解散時 (開・閉会式共通)



(7) 会場転換計画

国スポ総合開・閉会式、障スポ開・閉会式の会場となる第1種陸上競技場は陸上競技会の会場としても使用されます。会場の転換については、限られた時間内に効果的かつ円滑な作業を行う必要があるため、事前に式典運営、警備、輸送、競技など各部門と調整を図り、必要最小限の会場転換が行える計画とします。



▼内容：国スポ総合開会式会場から
国スポ陸上競技会会場への転換
▼日程：9月28日(日)～9月30日(火)

▼内容：国スポ陸上競技会会場から
国スポ総合閉会式会場への転換
▼日程：10月7日(火)

▼内容：国スポ総合閉会式会場から
障スポ開会式会場への転換
▼日程：10月8日(水)～10月23日(木)

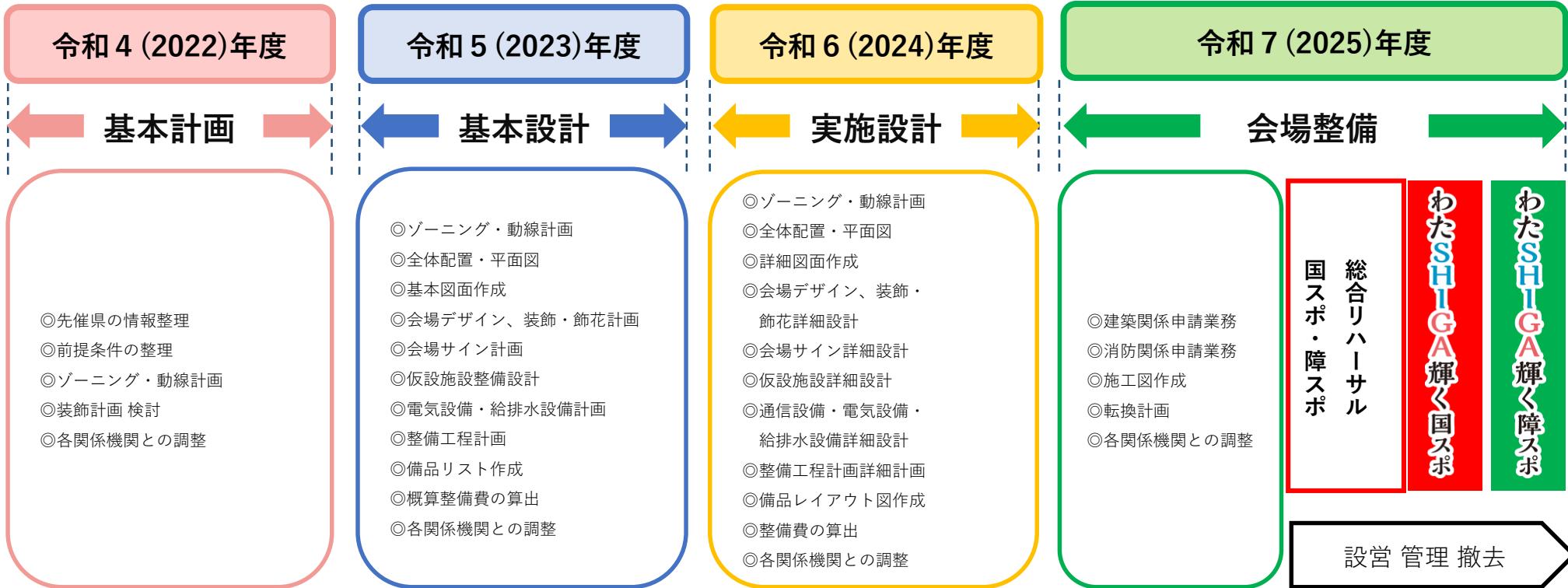
▼内容：障スポ開会式会場から
障スポ陸上競技会場への転換
▼日程：10月25日(土)

▼内容：障スポ陸上競技会場から
障スポ閉会式会場への転換
▼日程：10月27日(月)

月	日	曜日	午前	午後	
9	28	日	国スポ総合開会式		国スポ総合開会式
	29	月			【転換①】
	30	火			国スポ総合開会式会場から国スポ陸上競技会会場への転換
10	1	水	公式練習日		公式練習日
	2	木	公式練習日		公式練習日
	3	金	陸上競技会		陸上競技会
	4	土	陸上競技会		陸上競技会
	5	日	陸上競技会		陸上競技会
	6	月	陸上競技会		陸上競技会
	7	火	陸上競技会		陸上競技会
	8	水	国スポ総合閉会式		【転換②】
	9	木			
	10	金			
	11	土			
	12	日			
	13	月			
	14	火			
	15	水			
	16	木			
	17	金			
	18	土			
	19	日			
	20	月			
	21	火			
	22	水			
	23	木			
	24	金	公式練習日		公式練習日
	25	土	障スポ開会式		【転換③】
	26	日	障スポ陸上競技		障スポ陸上競技
	27	月	障スポ陸上競技		【転換④】
	28	火			障スポ陸上競技
	29	水			障スポ陸上競技
	30	木			障スポ閉会式
	31	金			

※上記日程については、現時点での想定であり、変更する場合があります。

(8) 整備スケジュール



◆会場整備における主な課題

- ◇先催県の会場と比較して既存諸室が少ない。
- ◇公園内の駐車場が少ない。また、大型車両の駐車可能場所が限られている。
- ◇一般観覧者等が式典会場内に入るための入場口（外階段）が少ない。
- ◇スタジアム内の常設トイレが少ない。
- ◇外周部に仮設フェンスの設置が必要となる場所が多い。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
開・閉会式会場等整備基本計画（中間案）にかかる意見照会の結果について

開・閉会式会場等整備基本計画（中間案）について、式典・会場専門委員会委員、全国障害者スポーツ大会専門委員会委員、各市町および全庁に意見を照会したところ、以下のとおり意見の提出があった。

番号	意見提出者	該当箇所	意見の内容	事務局の考え方
1	滋賀県吹奏楽連盟（式典・会場専門委員会）	-	<p>とても素晴らしい計画だと思います。</p> <p>前回の会議で申しました熱中症対策が非常に大切になってきますが、栃木国体で気になりましたのは、通報を受けた救急隊員がストレッチャーで上まで昇れず、布製のタンカを利用するなど、とても苦労されていた事でした。関係者、一般客ともスタンドで熱中症になれば、命にかかる場合も想定されます。計画では仮設スロープの設置等も予定されていますが、救急隊員が段差なく搬送できるルートの確保が大切だと思います。</p>	御意見のとおり、救急時の搬送ルートを確保することが必要であると考えています。救急時の対応につきましては、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、消防機関と連携し、現地調査のうえ検討します。
2	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会（式典・会場専門委員会）	P8 ゾーニング計画	<p>・現在計画されている「選手・監督控所」は、基本的に陸上競技選手団の控所であるが、障害者スポーツ大会開閉会式には、陸上競技以外の競技の選手団も参加するため、開閉会式に参加する選手団の待機場所として「(6)動線計画」に記載されている選手・監督控所のみではスペースが不足することが明らかであり、今後、開閉会式の待機場所としての更に別の開閉会式選手待機場所を検討し、追加することを明記されたい。</p>	基本計画の8頁に記載している「ゾーニング計画」は、国民スポーツ大会総合開・閉会式および全国障害者スポーツ大会開・閉会式に共通する基本的な配置を示したものであり、御意見を踏まえ、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、控所として必要なスペースを検討します。

			<p>また、今後追加される開閉会式選手待機場所については、降雨、寒冷、酷暑等様々な気象条件が想定されるため、少なくとも屋根、風よけ等がある施設を検討されるようお願いする。</p>	
	P9～12 動線計画		<p>・現行の動線計画では、場外駐車場等を想定されているが、公園内のみならず、場外駐車場からの経路や駐車場施設についても十分なバリアフリー対策を講じられたい。また、障害者スポーツ大会は、閉会式や競技が遅く終了し、会場からの退出時には周囲が暗くなるが、視覚障害者や移動の安全確保のため、移動経路および施設周辺等において十分な夜間照明を確保されたい。</p>	<p>御意見のとおり、移動時の安全確保が必要であると考えています。来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ、具体的な対策を検討します。</p>
	P14 会場整備における主な課題		<p>・トイレについて、数を十分に確保するとともに、配置についても、選手・役員・観客の動線等を考慮し、使いやすい配置を工夫されたい。特に車椅子等移動に困難がある障害者のため、選手・監督控所近辺、開閉会式集合場所周辺、競技場周辺、バス乗降場からの通路上等に適切に配置すること。また、開閉会式集合場所周辺は、多くの関係者が長時間待機することから、毎年混雑しており、十分な数を確保されたい。</p>	<p>御意見のとおり、移動に困難がある方にも配慮し、適切にトイレを配置することが必要であると考えています。来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ、仮設トイレの配置計画を検討します。</p>
3	式典会場・専門委員会	P3、14 彦根総合スポーツ公園の施設概要、整備スケジュール	<p>P 3 . 概要に建造物の立ち上がりイメージ図が欲しい（P14 に R5～6 年基本設計、実施設計スケジュールの中にも全体配置・平面図はあるが（姿図）がない。俯瞰図があ</p>	<p>御意見のとおり、イメージ図は必要と考えています。彦根総合スポーツ公園は現在整備中であることから、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、具体</p>

			つた方が建設的、展望的イメージが持てるのでは。	的な仮設物の配置場所を計画のうえ、会場の鳥瞰図を作成する予定です。
	P6 バリアフリー トイレの設置		P 6 . バリアフリーWCはどれくらい設置されるのか？特に障スポの関係で具体的に知りたい。	バリアフリートイレを含むトイレの設置数については、参加者数や動線、他の仮設物の配置計画等と合わせて、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ配置計画を検討します。
	P7 駐車場		P 7 . 駐車場の項目で一部の来場者は彦根駅～とあるが、一部の来場者とは何を示すのか？（距離は1km程度なので十分歩ける距離ではあるが、）	一般観覧者は彦根駅から徒歩での来場を想定しています。来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、各参加者の詳細な来場方法および動線計画について検討します。
	P9～12 動線計画		P 9～12 場外駐車場の具体的な場所の記載が欲しい（P 7 の利用可能な駐車場を検討中ということで記載がないのだろうか？）	各参加者の来場方法や計画バスの駐車場等については現在計画中であるため、具体的な駐車場名を記載していません。来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、駐車場所等が確定しましたら、各駐車場からの詳細な動線計画図を作成する予定です。
4	滋賀県高等 学校長協会 (式典・会場 専門委員会)	-	いただきました中間案につきましては、特に異議はありません。 今後、詳細を検討していく際に、言うまでもないのですが、参加選手や演技出演者の健康に十分に配慮した式典計画となりますことをお願いします。	御意見のとおり、参加者の健康や安全に配慮して計画します。
5	彦根市文化 スポーツ部 国スポ・障ス ポ推進課(式	P13 会場転換計画	13 ページの(7)会場転換計画において、陸上競技会の日程が4日間になっています。「現時点での想定」と記載	国スポ陸上競技会の日程について、御意見のとおり修正します。

	典・会場専門委員会)		はあります、陸上競技会5日間、公式練習2日間に変更はないと考えています。そのため、10月1日(水)が公式練習の初日となり、それに伴い、転換の日程が1日短くなります。この日程を踏まえた会場転換計画になるよう修正をお願いします。	
6	社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会(全国障害者スポーツ大会専門委員会)	P6 ユニバーサルデザインの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性に配慮した会場づくり <ul style="list-style-type: none"> 4項目例示されていますが、点字ブロックの敷設や側溝の安全対策(上部の覆い)も重要なことです。 ・わかりやすい会場づくり <ul style="list-style-type: none"> 点字表示の設置(手すり、トイレ内部のボタン、部屋の名称、案内板など) 点字版や拡大文字版の会場案内地図 ・利用しやすい会場づくり <ul style="list-style-type: none"> 屋内用誘導マットの敷設 音声案内の設置(通路などに加えてトイレ内部の構造、ボタンの位置など) 補助犬のトイレの確保 	御意見のとおり、障害のある人への配慮が必要であると考えています。基本計画の6頁には一例として、主に先催大会で導入実績があるものを記載していますが、具体的な対策については、御提案の趣旨等を参考に、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ、ハード面およびソフト面(人的なサポート等)の両面で検討します。
7	特別非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・滋賀(全国障害者スポーツ大会専門委員会)	P6 ユニバーサルデザインの考え方	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい会場づくりには車いすの貸し出し音声ガイダンスによる会場誘導聴覚障害者のための情報保障席の設置等が書かれていますが、知的障害者や発達障害者に対する対策が何も記されていないように感じてしまいました。 知的障害や発達障害のある方たちが安心して楽しめるようなハード面の対策がありましたら何らかの形で記していただきたく思います。 	御意見のとおり、障害のある人への配慮が必要であると考えています。基本計画の6頁には一例として、主に先催大会で導入実績があるものを記載していますが、具体的な対策については、御提案の趣旨等を参考に、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、ハード面およびソフト面(人的なサポート等)の両面で検討します。

			<p>(提案)</p> <p>自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害のある方は感覚過敏の為に困ることが多く配慮の必要な方がおられます。例えば照明の明るさが苦手であったり音量の大きさが苦手であったり、それぞれが様々な場面で配慮が必要となります。</p> <p>それぞれに合わせた配慮は難しいと思いますが、テント等による休憩スペースの適正配置の部分に知的障害や発達障害の方々にカームダウンスペース（気持ちを落ち着ける為に利用できる場所）が準備されているといった文言が入っていると配慮があることを感じられ会場に行きやすくなるのではないかでしょうか。</p> <p>今回のような大きなイベントを活用して社会への自閉スペクトラム症を正しく認知、理解することにより生まれるバリアフリーと合理的配慮を発信していただけだと当事者家族としても大変有り難く思います。</p>	
8	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課（全国障害者スポーツ大会専門委員会）	P6 聴覚障害者のための情報保障の設置	p 6 「聴覚障害者のための情報保障席の設置」とあるが、聴覚障害者以外の障害者には情報保障がされないのか。(視覚障害者に対する音声による情報保障、聴覚障害者に対する文字による情報保障を実施するのであれば知的障害者や発達障害者に対する情報保障にもなるよう平易な表記にするなどの工夫)	御意見のとおり、聴覚障害者のみならず、障害のある人への配慮が必要であると考えています。基本計画の6頁には一例として、主に先催大会で導入実績があるものを記載していますが、具体的な対策については、御提案の趣旨等を参考に、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、ハード面およびソフト面(人的なサポート等)の両面で検討します。

9	社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会(全国障害者スポーツ大会専門委員会)	-	<p>式典および開閉会式において、聴覚障害者への配慮をお願いいたします。</p> <p>メインスタジアムには、大型スクリーンで式典の様子などが放映されるかと思います。</p> <p>耳が聞こえない・聞こえにくい人のために文字(要約筆記)と手話通訳の表示をお願いします。</p> <p>大型スクリーンだけでなく、スタジアム・観客席・その他会場の複数の箇所で、聞こえてくる情報が目で見えるよう、複数の視覚媒体の設置をお願いします。ICTの開発に伴い、情報の見える化を積極的に進めてください。</p>	<p>御意見のとおり、障害のある人への配慮が必要であると考えています。先大会では、例年、観客席に情報保障席を設け、ヒアリングループ設置のほか、ボランティアによる手話や要約筆記をされており、本県においても同様に情報保障席の設置を考えています。その他、視覚媒体の設置等については、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ検討します。</p>
10	滋賀県特別支援学校校長会(全国障害者スポーツ大会専門委員会)	-	<ul style="list-style-type: none"> 開閉会式だけでなく、大会期間をとおして、トイレ、更衣室等について、LGBTQに配慮した施設(仮設を含む)設備が必要だと思います。 	<p>御意見を踏まえ、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で検討します。</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 彦根駅から会場までの動線について、「一部徒歩」とありますが、徒歩動線については、彦根城観光や釣り人との交錯対応、道路および各交叉点での安全確保等のため、誘導員や警備員の配置が必要だと思います。 	<p>御意見のとおり、会場までの徒歩動線の安全確保のため、誘導員等の配置が必要であると考えており、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ検討します。</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 駐車場について、障害者専用の駐車場を会場駐車場内に設けることをご検討ください。また、駐車場から会場までの移動手段についても、障害者に配慮した手段をご検討ください。 	<p>御意見のとおり、障害のある人に配慮した駐車スペースの確保が必要であると考えており、駐車場からの移動を含め、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で検討します。</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害や視覚障害への配慮について、会場内各所において支援が受けられるようご 	<p>御意見のとおり、障害のある人に必要な支援を行うことが必要であると考えており、</p>

			人員配置をお願いします。(駐車場やおもてなしスペースを含む)	人員配置については、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で検討します。
11	滋賀県総合企画部人権施策推進課	P6 バリアフリートイレの設置	箇条書きで示された四つ目の項目を、「バリアフリートイレ(性別によらず誰でも使えるトイレ(オールジェンダートイレ)を含む)」に修正しては如何か。	御意見を踏まえ、「バリアフリートイレ(性別によらず誰でも使えるトイレを含む)」の設置に修正します。
12	滋賀県文化スポーツ部 スポーツ課	P3 施設名称	野球場名ですが、正しくは「オセアンB C スタジアム彦根」です。	施設名称について、御指摘のとおり修正します。
		P9、12 選手監督動線	三ノ丸自治会館横の出入り口は狭いため、大人数の移動は不向きではと考えます。	御意見を踏まえ、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ適切な動線を検討します。
13	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課	P5 会場装飾	マザーレイクゴーリズのロゴの活用をお願いします。	御意見を踏まえ、会場装飾におけるマザーレイクゴーリズのロゴの活用やマザーレイクゴーリズと連携した取り組みを検討しますので、ご協力願います。
14	滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課	全体	障害種別ごとに配慮が必要な内容が異なり、障害福祉課で確認しても抜け漏れが出ることが想定される。「共生社会滋賀」をアピールするためにも、障害配慮等の要否やその内容については、できるだけ障害種別ごとの団体等の意見を聞くことについて配慮いただきたい。	障害のある人に配慮した会場づくりを行うため、来年度以降策定する基本設計・実施設計を進めていく中で、現地を調査のうえ、具体的な内容を検討する予定です。御意見も踏まえ、どのように実現していくことができるか検討してまいります。

運営ボランティア募集要項（案）について

1 運営ボランティアの活動内容（想定）

来場者の受付・案内等の業務を補助する活動を行う。

種別	内容
受付・案内	来場者受付、会場案内、誘導、介助等
会場整理	観客改札、観客誘導、座席案内等
会場美化	装花管理、ゴミ箱管理、会場内清掃等
会場サービス	弁当・飲み物の配布、車椅子貸出等
式典運営	開・閉会式の式典補助等
医療救護	救護所での教護活動等の補助等

2 運営ボランティアの募集における県・市町の役割

	国スポ		障スポ	
	開・閉会式	競技会	開・閉会式	競技会
県		(県運営競技会)		
市町		(市町運営競技会)		

3 県運営ボランティア募集要項（案）について

別紙のとおり。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 運営ボランティア募集要項（案）

1 目的

本要項は、令和7年に開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」および第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」（以下「両大会」という。）において、全国から訪れる選手・監督等の来場者をおもてなしの心でお迎えするため、両大会の開・閉会式等の運営を支える運営ボランティアの募集等について基本的事項を定めることを目的とする。

2 募集主体

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会（以下「県実行委員会」という。）とする。

3 募集人数

第79回国民スポーツ大会 「わた SHIGA 輝く国スポ」

開・閉会式等：1,700人、県運営競技会：必要と認められる人数

第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」 3,500人

4 募集期間

令和5年10月2日（月）から令和7年5月30日（金）まで。ただし、応募の状況に応じて期間を延長または短縮する場合がある。

5 応募要件

平成25(2013)年4月1日以前に生まれた方（令和7(2025)年4月1日時点で12歳以上）で、活動日での参加が可能な方。ただし、応募時点で18歳未満の方の申込みについては、保護者の同意を得るものとする。

6 申込方法

ホームページや郵送・FAX等により申し込むものとする。

なお、グループでの申込みも可能とする。

7 登録・取消

県実行委員会は、応募要件を満たした応募者を、運営ボランティアとして登録する。

なお、両大会のイメージを損なう行為等があった場合は、県実行委員会の判断で登録を取り消すことがある。

8 活動内容、活動日および活動場所

(1) 活動内容

両大会の開・閉会式、第79回国民スポーツ大会で滋賀県が準備運営を行う競技会場および第24回全国障害者スポーツ大会の各競技会場における来場者の受付・案内等の業務を補助する活動を行う。

種別	内容
受付・案内	来場者受付、会場案内、誘導、介助等
会場整理	観客改札、観客誘導、座席案内等
会場美化	装花管理、ゴミ箱管理、会場内清掃等
会場サービス	弁当・飲み物の配布、車椅子貸出等
式典運営	開・閉会式の式典補助等
医療救護	救護所での救護活動等の補助等

(2) 活動日および活動場所

区分	活動日	活動場所(予定)
わたSHIGA輝く 国スポ	総合案内所等	令和7年9月27日(土)~10月8日(水))
	総合開会式	令和7年9月28日(日)
	総合閉会式	令和7年10月8日(水)
	リハーサル大会(ラグビーフット ボール、ボウリング、自転車 トラック、馬術、ライフル 射撃(50m、10m、BR・BP))	未定
	公式練習会(ラグビーフットボ ール、ボウリング、自転車トラ ック、馬術、ライフル射撃 (50m、10m、BR・BP))	未定
	競技会(ラグビーフットボ ール、ボ ウリング、自転車トラック 、馬術、ライフル射撃(50m 、10m、BR・BP))	令和7年9月22日(月)~10月7日(火)
わたSHIGA輝く 障スポ	リハーサル大会	令和7年5月24日(土)~25日(日) 予定
	公式練習会	令和7年10月24日(金)
	各競技会	令和7年10月25日(土)~27日(月)
	総合案内所等	令和7年10月24日(金)~27日(月)
	開会式	令和7年10月25日(土)
	閉会式	令和7年10月27日(月)

上記以外にも、必要に応じて活動予定

9 活動日および配置箇所の決定

登録者の活動日・配置箇所については、事前に実施する希望調査を参考に県実行委員会が決定する。

10 研修等

県実行委員会は、両大会に関する認識を深め、開・閉会式等の円滑な運営を行えるよう、登録者を対象とした研修等を実施する。

11 待遇

- (1) 活動および研修等への参加にかかる報酬は無償とし、交通費は自己負担とする。
- (2) 服飾等の識別用品および昼食については、必要に応じて県実行委員会が支給する。
- (3) 活動および研修に当たり、県実行委員会の負担により「傷害保険」および「賠償責任保険」に加入する。

12 関係機関との連携等

運営ボランティアの募集にあたっては、応募者の利便性向上のため、会場地市町(それぞれに設置された

準備委員会および実行委員会を含む。)と連携を図るとともに、学校、企業、社会福祉協議会およびその他各種団体の協力を得ながら実施するものとする。

13 個人情報の取扱い

- (1) 応募者の個人情報については、滋賀県個人情報保護条例その他関係法令の規定に基づき、その保護を図るものとする。
- (2) 登録者の個人情報については、県実行委員会が主催する両大会の運営のために使用し、その他の目的には使用しない。ただし、申込時に各会場地市町への情報提供に同意している登録者の情報に限り、各会場地市町に提供することができるものとする。
- (3) 研修や活動の際に登録者を撮影した写真・動画については、両大会を広報する目的の限りにおいて、県実行委員会のホームページその他広報媒体に掲載できるものとする。

14 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、令和5年3月 日から施行する。

わたSHIGA輝く障スポ正式競技 競技名の変更について

番号	市町名	競技会場	競技名	
			(変更前)	(変更後)
1	長浜市	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	フットベースボール	フットソフトボール

競技団体の名称変更に伴い、競技名についても名称変更を行われたため。

(理由) 令和4年2月17日、(公財)日本パラスポーツ協会主催「令和3年度 4協議会合同会議」において、正式競技名の変更が報告された。

正式競技

No	競技名	第24回障スポ 会場地			
		市町名		施設名	障害区分
		所在地	準備運営		
1	陸上競技	彦根市	滋賀県 彦根市	彦根総合スポーツ公園陸上競技場	身・知
2	水泳	草津市	滋賀県 草津市	(仮称)草津市立プール	身・知
3	アーチェリー	愛荘町	滋賀県 愛荘町	愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	身
4	卓球 (サウンドテーブルテニスを含む)	野洲市	滋賀県 野洲市	野洲市総合体育館	身・知・精
5	フライングディスク	甲賀市	滋賀県 甲賀市	甲賀市水口スポーツの森	身・知
6	ボウリング	彦根市	滋賀県 彦根市 豊郷町 甲良町 多賀町	ラピュタボウル彦根	知
7	ポッチャ	甲賀市	滋賀県 甲賀市	甲賀市水口体育館	身
8	バスケットボール	大津市	滋賀県 大津市	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)	知
9	車いすバスケットボール	大津市	滋賀県 大津市	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)	身
10	ソフトボール	高島市	滋賀県 高島市	高島市今津総合運動公園第1グラウンド・ 第2グラウンド	知
11	グランドソフトボール	東近江市	滋賀県 東近江市	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	身
12	バレーボール	近江八幡市	滋賀県 近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	身
		湖南市	滋賀県 湖南市	湖南市総合体育館	知
		草津市	滋賀県 草津市	草津市立総合体育館	精
13	サッカー	守山市	滋賀県 守山市	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	知
14	フットソフトボール	長浜市	滋賀県 長浜市	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	知

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

オープン競技

No	実施競技名	主管団体名	施設名	市町名
1	SOバドミントン	特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・滋賀	プロシードアリーナ HIKONE (彦根市スポーツ・文化交流センター)	彦根市
2	ゴールボール	滋賀県ゴールボール協会	守山市民体育館	守山市

No	競技名	第24回障スポ 会場地			
		市町名		施設名	障害区分
		所在地	準備運営		
3	スポーツウエルネス吹矢	滋賀県スポーツウエルネス 吹矢協会	皇子が丘公園体育館		大津市

報告事項 2

わたSHIGA輝く障スポ特有の準備進捗状況について

手話・要約筆記ボランティアの養成

令和2年8月に「手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議」(事務局:(社福)滋賀県聴覚障害者福祉協会)を設置し、手話・要約筆記ボランティアの養成に向けて取組を進めている。

今年度は、手話・要約筆記ボランティアの募集要項や養成講座のカリキュラム・テキストについて検討および作成を進めているところ。その他に、指導者養成講座、ボランティアリーダーの選定も進めている。

また、手話・要約筆記ボランティア養成に向けた情報収集や調査・研究を目的として、とちぎ大会の視察を行った。

継続して、県内市町の手話講座や手話サークル等への出前講座等を実施し、関係者への協力依頼を行っている。さらに、1月29日には草津市で啓発セミナー(デフバレーボール選手による講演等)を行う予定をしている。

・令和4年度出前講座実施回数 計19回

選手団サポートボランティアの養成

令和3年度から令和4年度にかけて、県内大学、短大、専門学校等に対して選手団サポートボランティアの養成協力依頼を行った。

また、令和4年度(今年度)2月に養成協力予定校連絡会を開催する予定をしている。栃木県で開催された「いちごー会とちぎ大会」におけるサポートボランティアの視察報告や、先催県の大学の具体的な活動内容等について情報共有を行い、各校内で参加の仕方や授業等カリキュラムの検討をしていただく。

なお、令和5年度末に選手団サポートボランティア養成協力校委嘱状贈呈式を執り行う予定。

〔協力依頼校24校:県内大学、短期大学、看護系専門学校等〕

わたSHIGA輝く障スポ審判員等の養成・編成

令和元年度より審判員等の養成のため、各競技団体に対し補助金を交付。今年度も引き続き養成事業年次計画に基づき、審判員等の養成確保のために要する経費を支援している。また、障スポ競技役員等編成調査(第1次)を実施し、競技会当日の競技役員等編成の検討を行った。

〔令和元年度実績(4競技団体)〕

資格取得者数:29名(卓球5名、フライングディスク24名)

資格維持・資質向上者数:15名(バスケットボール8名、ソフトボール7名)

〔令和2年度実績（3競技団体）〕

資格取得者数：2名（卓球1名、ボッチャ1名）

資格維持・資質向上者数：15名（バスケットボール10名、卓球5名）

〔令和3年度実績（2競技団体）〕

資格取得者数：2名（卓球1名、ボッチャ1名）

資格維持・資質向上者数：21名（卓球7名、FD5名、バスケットボール9名）

〔令和4年度予定（3競技団体）〕

資格取得者数：38名（卓球5名、FD30名、バスケットボール5名）

資格維持・資質向上者数：50名（卓球40名、バスケットボール10名）

令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、養成の機会を逸している団体が多い。

資格審査員の養成

全国障害者スポーツ大会およびリハーサル大会における資格審査（障害区分の判定）を適切に行える人材を育成するため、（公財）日本パラスポーツ協会が主催する区分判定研修会に令和2年度から受講生を派遣している。

【参加者数】

令和2年度：理学療法士（協会推薦） 2人 事務局員 1名

令和3年度：理学療法士（協会推薦） 4人 事務局員 1名

令和4年度：理学療法士（協会推薦） 2人 作業療法士（協会推薦） 2人

事務局員 2名

第 11、12 回常任委員会・第 10 回総会における決定事項

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 第 11 回常任委員会について

1 期日・場所

- ・書面開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
- ・令和 4 年 3 月中旬 資料および意見書を送付

2 常任委員会における報告事項、審議事項

【報告事項】

（1）第 79 回国民スポーツ大会 競技施設基準の改正について

- バレーボール（ビーチバレー）競技について、（公財）日本スポーツ協会が定める「国民体育大会施設基準」の改正内容を反映し、基準を一部改正したもの。

【改定内容】

「規定のコート 4 面、練習コート 1 面（男女共有）」

「規定のコート 2 面（男女各 1）、練習コート 2 面（男女各 1）」

（2）第 79 回国民スポーツ大会 競技別リハーサル大会運営要領

- 第 79 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項に基づき、競技別リハーサル大会の運営について、必要な事項を定めるもの。

（3）第 79 回国民スポーツ大会 宿泊施設充足対策要項

- 国民スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員その他の関係者の宿舎の充足対策およびその実施に関する基本的事項を定めるもの。

（4）第 79 回国民スポーツ大会 医療救護要項

- 国民スポーツ大会における医療救護に関し必要な事項を定めるもの。

（5）第 24 回全国障害者スポーツ大会 医療救護要項

- 全国障害者スポーツ大会における医療救護に関し必要な事項を定めるもの。

【審議事項】

(1) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会 専門委員会設置規定改正（案）

- 「宿泊・衛生専門委員会」を廃止し、「宿泊専門委員会」、「医事・衛生専門委員会」および「馬事衛生専門委員会」を設置するもの。
- 「総務企画専門委員会」の付託事項および委任事項のうち「情報通信」に関する事項を「式典・会場専門委員会」に移管するもの。

(2) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 開催準備総合計画改正（案）

- 開催年までに実施すべき主な取組や必要な組織の設置等について、年次別、分野別にスケジュールを定めた開催準備総合計画について、時点更新を行うもの。
- 「推進組織」、「競技運営」、「式典」等について、項目追加やスケジュール等の修正を行った。

(3) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会警備・消防防災基本計画（案）

- 両大会において、安全かつ円滑な運営が行われるよう、県と会場地市町が行う警備・消防防災対策に関する基本計画を定めるもの。

(4) 第 79 回国民スポーツ大会 正式競技会場地市町第九次内定（案）

- 会場地未選定の競技のうち調整が整ったライフル射撃競技（センター・ファイア・ピストル以外）の会場地を内定するもの。（別添参照）
- 第九次内定で決定できなかった馬術競技については、令和 4 年上半期までに調整を行い、すべての会場地を選定する。

(5) 第 79 回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ実施競技選択および会場地市町第三次内定（案）

- 国民スポーツ大会において、生涯スポーツ振興の一環として、県内居住者を対象に、開催県が希望する種目を独自に実施するデモンストレーションスポーツについて、令和 3 年 5 月から 9 月にかけて第三次募集を実施したところ、応募のあった 5 市町 5 競技について内定するもの。（別添参照）
- 今回の内定後、既に第一次募集、第二次募集で内定済みの 19 競技とあわせ、計 14 市町 24 競技について、日本スポーツ協会および文部科学省に対して実施申請書を提出する予定。

(6) 第 79 回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ開催予定施設変更(案)

- デモンストレーションスポーツにおけるビリヤード競技について、主管団体および会場地市からの申請に基づき、開催予定施設をビリヤード場 (BILLIARDS SOULWOOD, ShotGun) から「栗東市民体育館」に変更するもの。

(7) 第 79 回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ実施競技名変更(案)

- デモンストレーションスポーツにおけるキンボール競技について、主管団体および会場地市からの申請に基づき、実施競技名を「キンボールスポーツ・レクリエーション」に変更するもの。

(8) 第 79 回国民スポーツ大会競技施設整備計画(第4次)(案)

- 国民スポーツ大会の競技施設の整備を計画的かつ円滑に推進するため、施設の概要、整備主体、主な整備内容、整備年度などの計画(第4次)を定めるもの。

(9) 第 24 回全国障害者スポーツ大会 選手団サポートボランティア養成基本方針(案)

- 全国障害者スポーツ大会に参加する選手団の介助・誘導等のサポートを行う「選手団サポートボランティア」の養成に向けて、取組等に関する基本方針を定めるもの。
- 養成にあたっては、次世代を担う若者が障害への理解を深められるよう、県内の大学、専修学校等の協力を得ながら進めていく。

第 24 回全国障害者スポーツ大会 選手団サポートボランティア養成基本方針

第 24 回全国障害者スポーツ大会に参加する選手および役員（以下「選手等」という。）の介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図るとともに、次世代を担う若者が障害への理解を深め、大会終了後も地域で活躍するきっかけとなるよう、次の方針により選手団サポートボランティアの養成を行うものとする。

1 基本方針

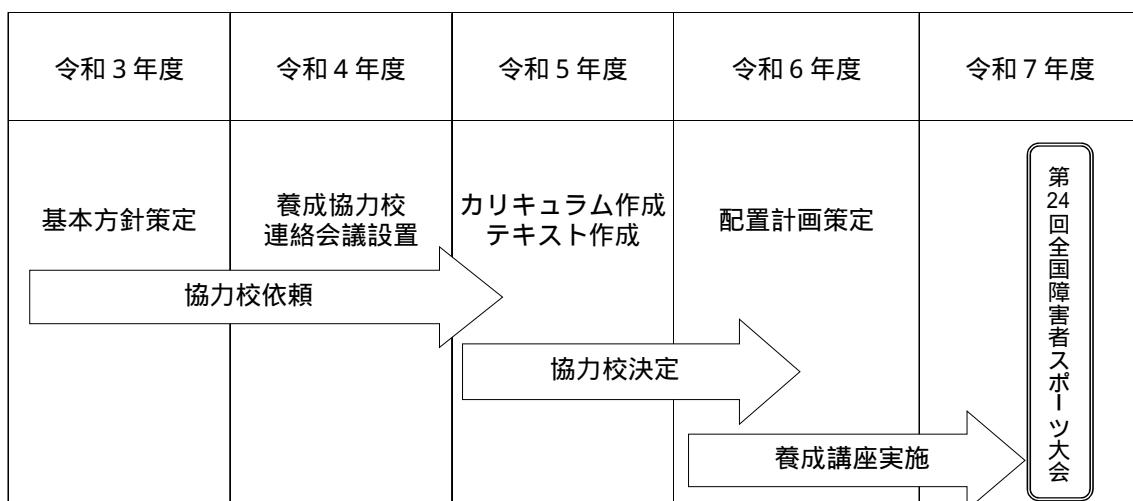
- （1）選手団サポートボランティアの養成は、滋賀県開催準備（実行）委員会が、県内の大学、専修学校等の協力を得ながら行う。
- （2）選手団サポートボランティアの養成に当たっては、障害のある人に配慮した行動をとれるよう、障害に係る知識の習得や障害理解の促進に係る講習等を行う。
- （3）選手団サポートボランティアの活動を通じて、若者が選手等との交流の中で経験や知識を得て、成長できるようにサポートする。

2 選手団サポートボランティアの定義

選手団サポートボランティアは、選手等の来県から離県までの間、介助・誘導等のサポートを行い、選手等との交流を深めるボランティアとする。

3 養成計画

選手団サポートボランティアは、以下の計画で養成する。



第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会

第 12 回常任委員会・第 10 回総会について

【報告事項】

(1) 第 79 回国民スポーツ大会の開催地および会期の決定ならびに第 24 回全国障害者スポーツ大会の開催地の決定について

- 第 79 回国民スポーツ大会の開催地を滋賀県とし、会期を令和 7 年 9 月 28 日から 10 月 8 日に決定した。併せて、第 24 回全国障害者スポーツ大会の開催地が滋賀県に決定されたため報告するもの。

(2) 第 79 回国民スポーツ大会 競技施設基準の改正について

- 競技団体が定める競技規則等の改正を反映するもの。

(3) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 防疫対策要項

- 両大会における防疫対策（知識の普及啓発、健康管理、感染症患者の発生時の措置、緊急連絡体制）を定めようとするもの。

(4) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 食品衛生対策要項

- 両大会における食品衛生対策（知識の普及啓発、監視・指導、自主的な衛生管理活動の促進、食中毒発生時の措置、緊急連絡体制）を定めようとするもの。

(5) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 環境衛生対策要項

- 両大会における環境衛生対策（会場および生活環境の美化、宿舎の衛生対策、廃棄物の適正処理・発生抑制・リサイクルの推進等）を定めようとするもの。

(6) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 開・閉会式輸送基本計画

- 両大会の開閉会式に係る参加者の輸送が円滑に行われるよう、必要な駐車場の利用計画など基本的な事項を定めようとするもの。

(7) 第79回国民スポーツ大会 輸送・交通要項

- 国民スポーツ大会における大会参加者等の安全・確実かつ円滑な輸送を行うため、必要な輸送方法、交通安全対策等を定めようとするもの。

【審議事項】

(1) 第79回国民スポーツ大会 正式競技会場地市町第十次内定(案)

- 会場地未選定の競技のうち調整が整った競技(馬術)の会場地を兵庫県三木市にある三木ホースランドパークに内定するもの。

(2) 第79回国民スポーツ大会 正式競技開催予定施設変更(案)

- 正式競技(サッカー)について、中央競技団体正規視察の指摘事項に対応するため、守山市が実施する少年男子の競技会場に水口スポーツの森陸上競技場を追加するもの。

(3) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 専門委員会設置規定改正(案)

- 馬事衛生に関することについて、県外・県市町共催等競技運営委員会の馬術競技運営委員会に移管するため「馬事衛生専門委員会」を廃止するもの。

(4) 第24回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施競技名変更(案)

- オープン競技について、主管団体からの申請に基づき、実施競技名を「知的障害者バドミントン」から「S0バドミントン」に変更するもの。

(5) 第79回国民スポーツ大会 正式競技・特別競技・公開競技別会期最終(案)

- 正式競技・特別競技・公開競技における競技別会期を定めるもの。

(6) 第79回国民スポーツ大会 自衛隊協力要請基本方針(案)

- 大会の運営に万全を期すため、自衛隊に協力を要請することとし、その基本的事項を定めようとするもの。

3 第10回総会における報告事項、審議事項

【報告事項】

(1) 第79回国民スポーツ大会の開催地および会期の決定ならびに第24回全国障害者スポーツ大会の開催地の決定について

- 第79回国民スポーツ大会の開催地を滋賀県とし、会期を令和7年9月28日から10月8日に決定した。併せて、第24回全国障害者スポーツ大会の開催地が滋賀県に決定されたため報告するもの。

(2) 役員、委員等の変更

(3) 第11回常任委員会における決定事項

(4) 第12回常任委員会における決定(予定)事項

【審議事項】

(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会の設置等について

- 両大会実行委員会の設立および会則改正について諮るもの。
- 開催決定に伴い、開催準備委員会の名称を「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会」に変更する。
- 新たに「県外・県市町共催等競技会運営委員会」を設置する。

(2) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会県外・県市町共催等競技会運営委員会の設置について

- 第79回国民スポーツ大会において、県外および県市町共催等により実施する各競技会の運営が円滑に行われるよう設置する県外・県市町共催等競技会運営委員会について、必要事項を定めるもの。

(3) 令和3年度事業報告(案)

(4) 令和3年度収支補正予算(会長専決処分)

(5) 令和3年度収支決算(案)

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会 第1回総会について

1 期日・場所

- ・令和4年8月7日（日）
- ・びわ湖大津プリンスホテル2階 コンベンションホール「淡海」

2 第1回総会における報告事項、審議事項

【報告事項】

-

【審議事項】

（1）わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ企業協賛推進要綱（案）

- 両大会における企業協賛制度を開始するにあたり、必要な規定を整備するもの。

（2）第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 募金推進要綱改正（案）

- 実行委員会への組織改編に伴い、募金の名称等を変更するとともに、両大会の運営に要する経費に充てる募金を開始することに伴い要綱を改正するもの。

（3）令和4年度事業計画（案）

（4）令和4年度暫定収支予算（会長専決処分）

（5）令和4年度収支予算（案）

第12回常任委員会 第4号議案

第24回全国障害者スポーツ大会オープン競技実施競技名変更

実施競技名		主管団体名	市町名	開催予定施設
(変更前)	(変更後)			
知的障害者 バドミントン	SO バドミントン	特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス 日本・滋賀	彦根市	彦根市スポーツ・ 文化交流センター

(理由)

SO (Special Olympicsの略称) の特徴、独自性のあるバドミントン競技であること
を示すため。

いちご一大会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

視察報告

令和5年1月26日(木)

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会
滋賀県国スポ・障スポ大会局

大会の愛称等

○大会の愛称・スローガン



○大会のマスコット

とちまるくん



大会の概要(正式競技)

○大会期日：令和4年10月29日(土)～11月1日(月)

○参加選手団：

選手／約3,500名 役員／約2,000名(各都道府県、指定都市役員)

○実施競技および会場

	競技名	会場
個人競技	陸上競技	カンセキスタジアム(栃木県総合運動公園陸上競技場)
	水泳	日環アリーナ栃木 屋内水泳場
	アーチェリー	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場
	卓球(STT含む)	TKCいちごアリーナ(鹿沼総合体育館)
	フライングディスク	栃木市総合運動公園陸上競技場
	ボウリング	足利スターーン
	ボッチャ	にしなすのスポーツプラザ
団体競技	バスケットボール	日環アリーナ栃木メインアリーナ
	車いすバスケットボール	栃木県立南体育館
	ソフトボール	美原公園野球場・第2球場
	グランドソフトボール	宇都宮市屋板運動場運動広場
	フットソフトボール	ジェットブラックフラワーズスタジアム(足利市総合運動場硬式野球場)
	バレーボール	身体
	バレーボール	知的
	バレーボール	精神
	サッカー	宇都宮市清原体育館

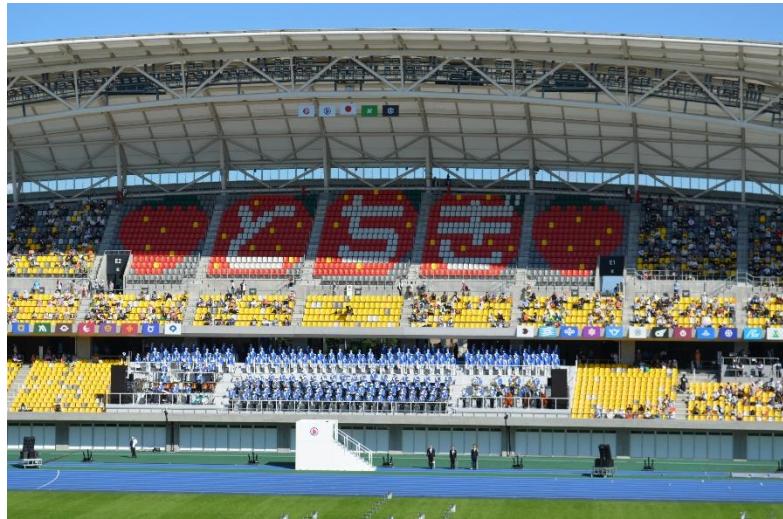
大会の概要(オープン競技)

競技名	卓球バレー	スポーツウェルネス吹矢	車椅子ダンス
大会期日	10月2日(日)	10月29日(土)	10月30日(日)
会場	わかくさアリーナ	さくら市氏家 体育館	関東ホーチキ にしがた体育館
参加数 (選手・監督、関係者、 観覧者)	約160名	約70名	約140名

※卓球バレーは障スポ会期前に開催。

大会の視察報告(式典)

○開会式 令和4年10月29日(土) 10:00~12:00



- ・都道府県応援団のエールに選手団は大変喜ばれていた。
- ・感染症対策から声を出さないかわりにステイックバルーンを使用することで賑やかさを演出していた。



大会の視察報告(式典)

○閉会式 令和4年10月31日(月) 15:00~16:45



・ファイナルステージは夕暮れ時とアコースティックな音楽が相まって、しっとりとした雰囲気に包まれていた。



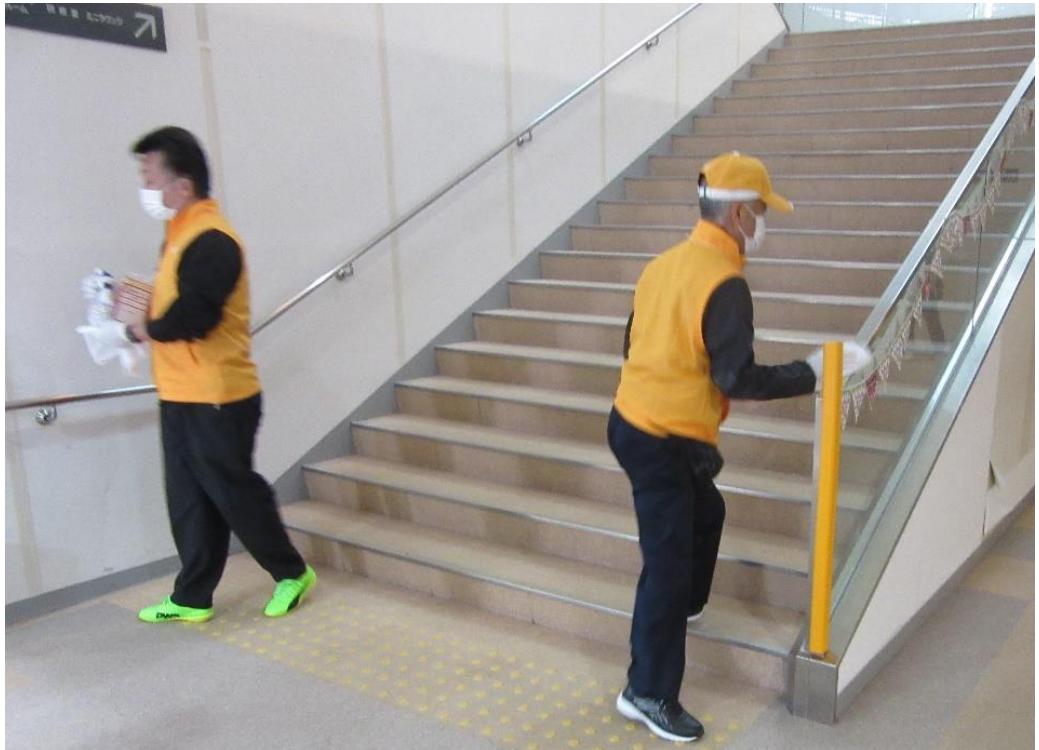
・栃木県選手団が整列して選手団をお見送りする構成で、感謝の意が感じられた。

大会の視察報告(ボランティア)

○大会運営ボランティア



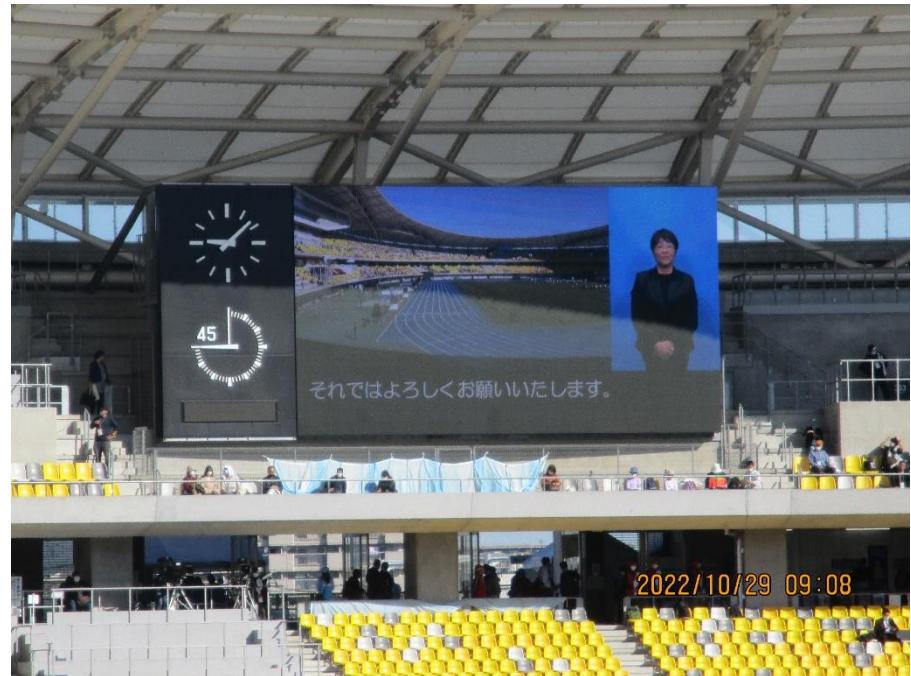
- ・延べ約1,700名が活動。
- ・受付、案内、入場管理、会場整備、環境美化等を各会場で実施。



大会の視察報告(ボランティア)

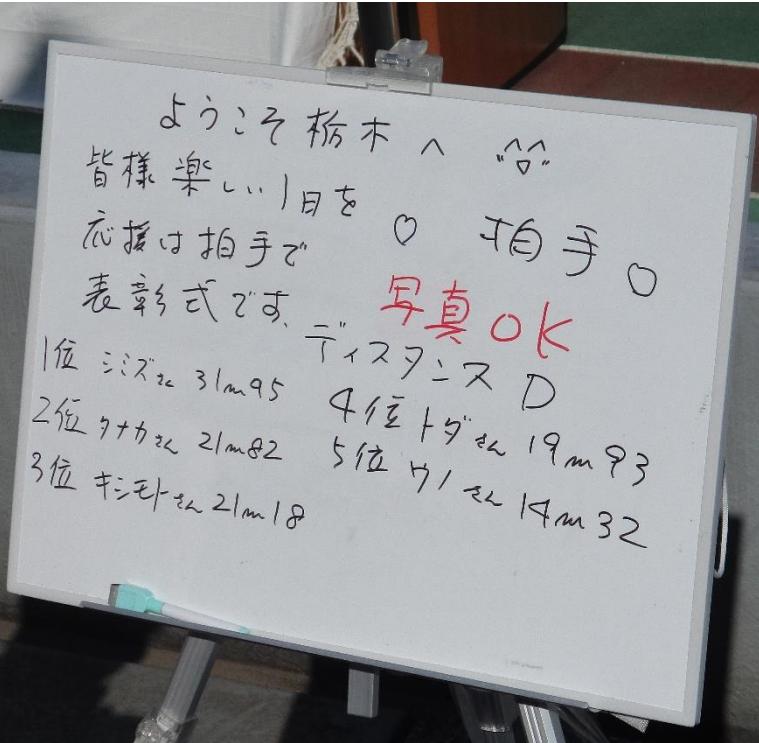
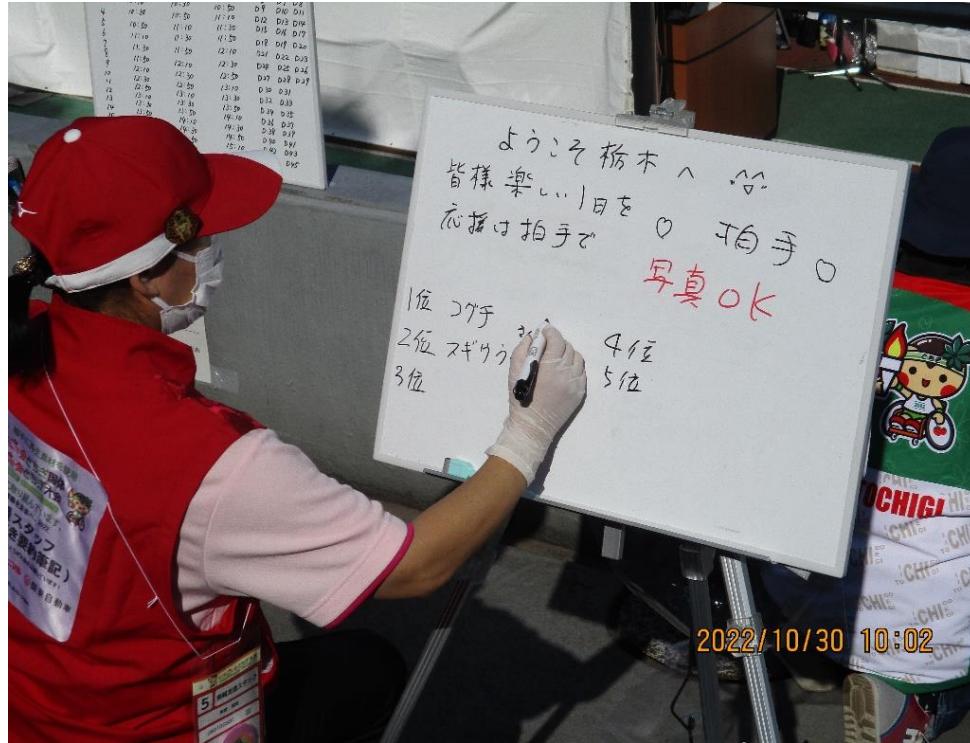
○情報支援ボランティア(手話)

・情報支援スタッフ 延べ約920名が参加(手話・要約筆記)



大会の視察報告(ボランティア)

○情報支援ボランティア(要約筆記)



- ・募集対象者は、日常会話ができる程度の手話能力のある方。

大会の視察報告(ボランティア)

○選手団サポートボランティア

- ・延べ約3, 100名が活動
- ・選手と行動をともにし、歓迎、案内、介助、交流を行う。
- ・県内の大学、専門学校等の学生が参加。



大会の視察報告(施設)

○情報保障体制

- ・音声誘導装置
- ・(PC要約筆記)映像装置



大会の視察報告(おもてなし)

○いちご一会広場

<メイン会場>

- ・ステージ、飲食、展示販売等。
- ・開閉会式時は、非常に混雑している。
- ・陸上競技以外の出場選手は滞在時間が少ない。



<各競技会場>

- ・メイン会場以外の競技会場にも設置され、ふるまい料理などのおもてなしが実施される。
- ・メイン会場(陸上競技)に比べ小規模。



大会の視察報告(競技運営)

○競技役員

- ・審判や記録、表彰等の運営など競技全般を行う。



大会の視察報告(競技運営)

○競技補助員 延べ2, 600名参加

- ・選手誘導や線審、表彰補助など競技を行う上で役員の補助を行う。



大会の視察報告(競技付帯サービス)

○コンディショニングルーム



○車いす修理所



大会の視察報告(輸送・交通)

○選手団

- ・宿舎から競技会場までバス等で計画的に輸送。
- ・競技用車いすはトラックで輸送。
- ・バス乗車が困難な選手は福祉タクシーで移動。



大会の視察報告(輸送・交通)

○一般観客向け

- ・案内看板をシャトルバス発着所や駐車場入り口に設置。



大会の視察報告(滋賀県選手団の活躍)

○成績

いちごー会とちぎ大会
参加選手 55名

金メダル	21個
銀メダル	12個
銅メダル	7個
大会新記録	1個
自己新記録	11個



★ソフトボール競技は3位で銅メダル獲得

大会の視察報告(感染症対策)

■ 主な大会参加条件

- a. 大会参加日の14日前から毎日の起床時体温、健康状態および行動歴の記録
 - b. スマートフォン健康管理アプリ等を利用し、前述aの記録



健康管理アプリ



健康管理チェックシート

- c. 大会参加日前120時間以内に採取した検体でPCR検査を受検し陰性であること
 - d. 大会参加日に抗原定性検査を実施し陰性であること
 - e. 一部の参加者は、大会参加日以降に抗原定性検査を実施し陰性であること

大会の視察報告(感染症対策)

新型コロナウイルス感染症対策

競技会場での取組み

- 一般観覧者の制限、事前申込みの導入
- 視察員および報道員の制限、事前申込みの導入
- 競技会場入場時の検温および健康管理アプリ等の確認



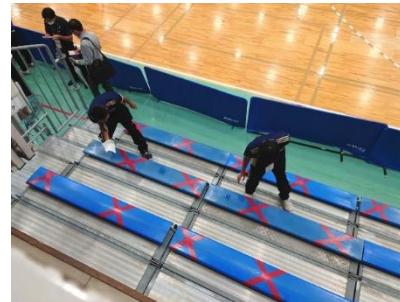
大会の視察報告(感染症対策)

■ 競技会場での取組み

- ハンドソープおよび消毒液の設置



- 一般観覧席でのソーシャルディスタンスの確保、入れ替え時の消毒作業



いちごー会とちぎ大会（第22回全国障害者スポーツ大会）
参加者アンケートの結果概要について

1. 目的

3年後に滋賀県で開催する「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の準備を進める上での参考とし、大会を成功に導くため、大会に参加した関係者から意見を聴取する。

2. 実施時期

令和4年10月22日

滋賀県選手団出発事前説明会にてアンケート説明・配布

令和4年10月29日～11月1日

アンケート記入（紙またはしがネット受付サービス）

令和4年11月30日

締め切り

3. 対象者

99名（選手55名、監督32名、支援スタッフ等12名）

4. 回答者数（回答率）

77名（選手46名、監督・コーチ23名、支援スタッフ等8名）（回答率77.8%）

5. アンケート質問一覧、競技別5段階評価（平均）一覧

6. 滋賀県選手団意見集約

いちごー会とちぎ大会(第22回全国障害者スポーツ大会) 参加者アンケート 質問一覧

評価項目一覧

	試合の進み方など
	会場について
	会場の近くのおみやげ売り場や無料の飲み物などのおもてなしについて
	食事について(会場でお弁当を食べた人だけ答えてください)
	宿について(泊まっていない人はとばしてください)
	宿や駅から会場への移動について
	開会式・閉会式について (1) どう感じた (2) 内容 (3) 時間
	ボランティアについて (1) 選手団サポートボランティア (2) 競技運営ボランティア

いちご一會とちぎ大会 滋賀県選手団アンケート 競技別5段階評価 平均値(全体回答率77.8%)

質問項目NO.							1	2	3	(1)	(2)
陸上競技	3.5	3.5	3.7	3.5	4	3.4	4.2	4.3	1.6	4	3.8
水泳	2.8	4	3.8	3.2	3.6	1.8	4.3	4.3	2	4.2	4.7
アーチェリー	5	4.5	3.5	5	5	4				5	4
卓球	3	2.2	2.3	2.5	2.3	3	4.4	4.2	1.6	3.3	3.5
フライングディスク	4	5	5	5	5	4	5	5	1	5	5
ボウリング	3.5	4.2	3	4.5	4.6	4				4.7	5
ボッチャ	1	3.6	2.3	4	1.6	5				5	5
ソフトボール	4	4	3.3	3.7	4.2	3.5	4	4	1.5	4.2	3.9
グランドソフトボール	3.6	4.2	2.1	3.6	3.4	3.4				4.2	4.4

いちご一回とちぎ大会 選手団アンケート集約

陸上競技	良い点	改善点
試合進行	<ul style="list-style-type: none"> 概ね時間通りの運営でよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技中断の場内アナウンスがないまま選手達が待たされていた。 練習会場から主会場が離れている上に、招集前の事前整列があったため、アップ終了から試合までかなりの時間が空いてしまった。
会場	<ul style="list-style-type: none"> 会場はとても広く、トイレも多くて良かった。 LIVE映像が見れて良かった。 仮設トイレが多くてありがたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 主会場までの距離が遠い 選手控から主会場までが遠い テントから大会会場までの距離が長すぎた。 選手控から競技場までの距離が長すぎて移動に困難を訴える選手もいた。 選手団控所から主会場までの距離は近い方がよい。
おもてなし広場	<ul style="list-style-type: none"> ブースが多くてリフレッシュすることができた 栃木県の特産品を知ることができて良かった。 選手控の隣がおもてなし広場になっていて利用しやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 何時まで店が開いているのか分からなかった。 お店が閉まるのが早く、焦ってしまった 試合が終わって夕方に行つても店が閉まっていたり、売り切ればかりで何もできなかった。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 弁当は、お品書きで何が入っているのか分かって良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 揚げ物が多い。試合前なのであっさりしたもののが良い 選手からすれば、あっさりで高たんぱくなものが良いと思う 食事がワンパターンで多くの選手、コーチが残っていた。
宿泊		<ul style="list-style-type: none"> 片道40分は遠い 会場まで遠い。 ホテルの対応が悪い。御飯はお代わりなしとか、コップ等が人数分ない。
移動	<ul style="list-style-type: none"> 宿と会場が近かったので朝の時間にゆとりがあって良かった 	<ul style="list-style-type: none"> 移動距離が遠い 移動が長い
式典	<ul style="list-style-type: none"> 式典の時間配分は適切だったと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 飲み物が持ち込めないのは大変不便と感じた。 開会式・閉会式の時に水分がほしかった。 閉会式はトイレ渋滞が起っていた。 閉会式はあと30分早く終わってほしい。
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 指示をしっかり聞いたり、守ってくれてとても良かった サポボラがいてくれたおかげで、選手を元気に送り出すことができた 自分ひとりのために、サポボラと一緒についてくれて助かった。感謝しています 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの役割、内容について一部のベテラン団サポのみ理解していて全員の共有がないまま進んでいてどういう事を頼んで良いのか、またはいけないのか分からない。 スタッフ全員が理解していないと単なるお客様で終わってしまうおそれがある。 サポボラは選手のアップ後に到着したため、期待していた業務をしてもらうことができなかった。 途中でサポボラのメンバーが変わるので、関係も築けなかった。
過去との比較		
感染症対策	<p>体温測定や、受付など選手団と一般観覧者の動線が分けられていて良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> サーモグラフィをポイントに設置しておくとなお良い 	<ul style="list-style-type: none"> 抗原検査が多すぎてしんどい

いちごー会とちぎ大会 選手団アンケート集約

	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・夜になると、主会場から選手控の移動など、外がとても暗かった。 ・閉会式へ向かう動線が混雑していた。
	わた SHIGA 輝く障 スポート にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者対応のスタートティングブロックが採用されていた。是非滋賀県でも導入してほしい ・滋賀県でも一部で盛り上がるのではなく、県全体で大会を運営していかたらしいなと思う ・滋賀大会に来て良かったと思ってもらいたい。 ・主会場、練習会場、選手控が近くにあると選手にとって嬉しいと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本パラ大会や、ジャパンパラ大会への参加を促す様な取り組みを積極的に進めて行かなければいけないのではないかと思います。 (社会の認知度が低いと思いませんか?) 国スポ、障スポ大会を目指すのがゴールではなく、その上の大会を視野に入れた強化の必要性を感じました。 ・開閉会式は簡素化を図ってほしい。 ・開閉会式に参加できなかった選手から「参加したかった」との意見を聞いている。

いちご一回とちぎ大会 選手団アンケート集約

卓球	良い点	改善点
試合進行		<ul style="list-style-type: none"> 試合が長引くと一時間くらい待ち時間ができた。
会場		<ul style="list-style-type: none"> 駐車場からの距離が遠い 横断幕の大きさに制限があり、競技力から借りたものでは大きすぎる（小さいものをつくってほしい） コートが狭かった。 卓球一台のエリアが狭く、競技中にフェンスに接触するなど危険性があった。
おもてなし 広場	<ul style="list-style-type: none"> 無料でいちごのどらやきを頂くことができて嬉しかった 	<ul style="list-style-type: none"> 店が少ない。食べる場所がない。 おみやげ売り場の店舗の数が少なくて残念だった。 商品が少ない。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 地元の特産品が入っているといいなと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 揚げ物が多すぎる 量が多いし、揚げ物が多い。 揚げ物中心で毎日同じメニュー。みんな残していた。
宿泊		<ul style="list-style-type: none"> 宿の食事は楽しみにしていたが残念。毎日同じ献立でがっかりしたし、朝食の弁当は冷たかった。 朝ごはんに弁当はやめてほしい。
移動		<ul style="list-style-type: none"> 距離が長い。精神障害のある選手にとって知らない土地で知らない人と一緒に一時間以上も行動するのは苦痛。精神障害者へ配慮した輸送計画をお願いしたい。 宿から会場まで一時間かかるのは厳しい。 駐車場から会場までの距離が分かれば事前に教えてほしかった。杖をもって行けばよかった。
式典		<ul style="list-style-type: none"> 閉会式が終わってからバスに乗るまでの待ち時間が長い。 閉会式の振り返りのVTRは栃木県の選手中心になるのは仕方ないが、全国の選手がたくさん映る方がもっと盛り上がる。
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 団付きの方は親切で丁寧で感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> サボボラは3日間つく予定だったが、実際は全日欠席で残念。 救護の入口にどういう理由で来たのかと確認する受付のような人がおり、精神障害者に対する理解が不十分と感じた。
過去の大会との比較	<ul style="list-style-type: none"> 知事が手話で挨拶をしていたのは良かった。 	
対策 感染症		<ul style="list-style-type: none"> 閉会式は混雑していて密だった。

いちごー会とちぎ大会 選手団アンケート集約

	その他	<ul style="list-style-type: none"> サポボラが欠席した場合、代わりに誰か別のサポボラに来てもらうなどが難しかったかもしれないが、交流という意味、人手という意味でもいてほしかった。 公式練習について、昼休みをなくしてもう少し練習時間を確保してほしい。
わ た S H I G け て 輝 く 障 ス ボ に む	<ul style="list-style-type: none"> 卓球の参加選手が増える事で、身体、精神の選手の発掘と育成が必要。 指導者の確保も重要、練習環境(場所、日)の年間計画的に確保していただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> 普段練習が出来ていない選手が多く、市町のスポーツ協会や卓球協会との連携による練習場所の確保。 手話の人材育成(今大会会場に20人)や、STTの選手、指導者の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 救護に関しては、本当の救護とは違うかもしれないが、休めるベッドや、クールダウンルーム(寝られるマット等)を用意したほうが良いと思う。 弁当の揚げ物を減らしてほしい。

いちご一會とちぎ大会 選手団アンケート集約

ボッチャ	良い点	改善点
試合進行	時間通りに試合が進んでおり遅れはなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 1エンドでは、試合数が少なすぎるのに、交代や試合運びに時間が掛かりすぎである。 審判員がモタモタしすぎである。 公式練習会時、グループ分けが出来てなく公式コートが時間切れで練習出来ないチームがあった。 審判 線審 計時のレベルの差があり、選手にとっては不公平なジャッジもありました。 <p>各審判の連携が悪い所も多々ありペナルティを見逃す所も見受けられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機時間が長い。
会場	・コーチ数も3コートで少なくしたが試合の全試合遅れる事無く終われたこと コート数少なくて審判長長が全体を把握しやすかった。	<ul style="list-style-type: none"> 試合会場が狭すぎる。 晴天で外のテントでの選手控所でも良かったが、雨や寒い時は、どうされたのか。 急遽、皇族が来られるとお聞きし、前日の夜に本人の身分証明書が必要と連絡があったが、介護人等で持っていない者もあり、会場入りにもめた。 会場が少し狭かった。
おもてなしあてな		<ul style="list-style-type: none"> お土産が買えなかった。 お店の数を増やしてほしい。
食事		<ul style="list-style-type: none"> 試合当日は昼の時間だったので10時半に食事なつたが早すぎて食べられなかった。試合終わってから食べても空箱回収の時間を遅くしてほしい 毎日お弁当は飽きがくる。 試合当日、お弁当を食べる時間がなかった。無理やり食べてもらった。 <p>サンドイッチなど軽食の提供があれば調整しやすかった。</p>
宿泊	・部屋は広く、快適だった。・大満足。大会のためにリニューアルしたと聞いた。トイレも広く、快適に過ごせた。	<ul style="list-style-type: none"> 宿舎は普通であったが、夕食の量やメニューが全くダメだった。 夕食は少し物足りない無かった。 食事について、決められたものしか食べられず選手が選べるような状態でなかった。
移動	<ul style="list-style-type: none"> 流れ良く、スムーズに会場へ移動することができた。 重度障害者には全て、リフト付きワゴン車が配車しており、配慮されていた。 大型バスで移動 他チームとの交流ができた。 介護タクシーとは別行動になる 大型バスでなくて、ハイエースで移動出来たのでは?と思った。 	
式典		

いちごー会とちぎ大会 選手団アンケート集約

ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい笑顔とテキパキとした態度がとても嬉しかったです。 ・頑張ってくださいといつも応援してください心強かったです。 ・選手団のサポートの方の対応は最高によかったです。 ・学生ボランティアの方も親切でスムーズなサポートをして頂きました。 ・サボボラは本当に素晴らしい。テキパキと行動し、やさしさあふれる笑顔で私たちも見本とさせていただきたいと感じた。 ・ボランティアの模範だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サボボラは一日交代でゆっくり話せる時間ははなかった。
過去の大会との比較		
感染症対策		
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・一日早く帰県したが閉会式に出たかったという選手は多かった。 ・せっかくの晴れ舞台なんで、ボッチャチームも開会式か閉会式に参加したい。 他県も閉会式に参加されており、滋賀県は帰るの？と言われた。ぜひ、次回より検討をお願いします。 ・ランプ選手と手投げ選手は対戦しないように、分ける、もしくは、ペア戦にすべき。 ・審判のレベルが低過ぎ。 競技に悪影響が出るほどのレベル。
わたしが輝く障スポに		<ul style="list-style-type: none"> ・突然、身分証明書の提示を求められ、困惑しました。突然皇室の方が見えられたからとのことですが、必要なら事前に伝えてほしかった。（選手団介助者） ・水口体育館は、栃木那須塩原の会場より狭い会場になるので、より工夫が必要と感じられた。 ・移動や宿泊先や食事など重度の方への配慮を求められる。

水泳	良い点	改善点
試合進行	<ul style="list-style-type: none"> ・大会1日目からは靴履替場所を2か所にして、マットを広くしたり、椅子を設けていただき良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選手控えをプールサイドと屋外のテントと施設内に2か所設けられていたが配布毛布の使用がプールサイドの控えのみで、ほとんどの選手団がプールサイドに待機した。密な状況だった。 ・前日練習の日に指定された選手控え場所が、大きな選手団が場所を占領されており、滋賀は隣のエリアに待機した。エリア指定があったにも関わらず、席には標示がなく、団付き同士の調整も上手く出来ない状況だった。 ・新記録を出した時に、また泳いでる選手がいるのに、大音量で画面を変えるのはどうかと思う。 ・泳ぎ終わった後に、タイムを見たくても見れないし、一生懸命泳いでる人に失礼と感じた。 ・今までの大会に比べて誘導係などのボランティアが少ないと感じる。
会場	<ul style="list-style-type: none"> ・動線がシンプル。これに尽きる。 ・泳ぎやすくて、動線もよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行啓でペットボトルの持ち込み不可と当日の移動のバスの中で聞き、対応の出来なかったので、主催者が用意したペットの水を配布してほしかった。 ・待機場所が事前に割り当てられていたが、肢体不自由、視覚障害のある選手が階段の昇降が必要な場所で配慮に欠けていた。 ・退水が一方通行のため、端の遠いレーンの選手は時間がかかる。特に視覚障害のある選手は移動が大変だった。 ・選手団の応援席が狭かった。
おもてなし広場	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍である中で、飲食物の提供には勇気が必要だったと思うが、思い切って提供してくださったことに感謝です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お土産が買えるふれあい広場は各会場にある方が良い。 ・国体、障スポ合わせて最後まで満足におみやげを購入できるよう、仕入れを増やしておいてもよかったですもある。 ・最終日にお土産を買おうと思ったら、売り切れになってしまった。 ・選手は最終日しか行けないことが多いので、パンフレットを配って注文する等のシステムはどうか? ・お店が少なくて残念。
食事		<ul style="list-style-type: none"> ・美味しいいただきましたが、レース前の選手たちには重かったと思う。 ・レース後に食べたいと思っても、弁当がら回収で14時までに食べないといけないので、食べられない人もいたと思います。 ・岐阜大会の時には、県内各地の特産品を使った献立だったか、滋賀大会の際にはそういう、食事でも滋賀を感じられる献立にしてほしい
宿泊		<ul style="list-style-type: none"> ・宿から会場まで1時間20分は遠すぎる。 ・トイレが近い方はとても不安そう。また、大会3日目は月曜で大渋滞でした。約2時間かかり、アップ開始時間に間に合わない状況だった。 ・宿の配宿は、交通規制の実施や渋滞予想などして移動時間は出来るだけ短く片道1時間以内にしてほしい。 ・食事が単調。 ・朝食は弁当だった。和食と洋食など選択の余地が無かったのが寂しかった。 ・アメニティは充分に備えてほしい。

	移動	<ul style="list-style-type: none"> 往復でバスに3時間はしんどい。また、3日目にバスが30分遅れ、アップが計画通りできなかったチームもあった。宿泊場所や、道路の使い方（優先道路を使うなど）、市民の皆さんへのお願いなど、あらゆる面での準備が必要と感じた。 トイレが近い方はとても不安そう。また、大会3日目は月曜で大渋滞でした。約2時間かかり、アップ開始時間に間に合わない状況だった。 宿の配宿は、交通規制の実施や渋滞予想などして移動時間は出来るだけ短く片道1時間以内にしてほしい。
	式典	<ul style="list-style-type: none"> 閉会式のみ参加。時間適度で内容もシンプルで良かった。知事さんが言葉と手話で選手たちに伝えてくださり、感動した。 体的にコンパクトかつシンプルで、良かったと思う。 知事が、ほぼ手話通訳を介さずにご自身の手話でお伝えいただけたことは、大きな意味があると思う。
	ボランティア	<p>運営ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> 親切で丁寧。大変きちんと仕事をしてくださっていた。 会場案内の方もきちんと挨拶をするマナーの研修を受けているのかなと思うほどだった。
	過去との比較	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に短くて良かった。
	感染症対策	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 行啓がある日のセキュリティが厳しい。受付にも時間がかかり、アップ時間に間に合わない。 障害がある選手たちに紙コップでの水分補給は無理がある。特に両手のない選手。主催者側でペットボトルの水を配布すべき。 （水筒、未開封ペットボトル 水筒、未開封ペットボトル×）ということがあった。往路のバス車中で伝えられた。 監督者会議で最終の打ち合わせなのだから、基本的には覆さない。 監督者会議で決められたことを覆した場合の大会本部から各選手団への情報伝達の仕方 だれのための大会なのかを遵守してほしい。

いちごー会とちぎ大会 選手団アンケート集約

わた SHIGA て輝く障 スボにむけ		<p>事前の代表者会議、監督者会議で伝えたことを覆さないでください。国スポでの対応があったなら、代表者会議、監督者会議で変更は伝えられたはず。団としても水筒持参するよう伝えることができた。国スポ障スポ大会が1つの大会として運営出来るよう、各専門委員会が情報共有し、選手ファーストの流れで対応策を考えていただきたい。(宿舎も移動時間含む。)</p> <ul style="list-style-type: none">・栃木県は、国体と全スポの連携ができていない。両大会を成功させるために滋賀県では連携をとってほしい。・役員、ボランティアの動員など人数が確保できるのか。今から準備が必要だと思う。
------------------------------	--	--

いちご一會とちぎ大会 選手団アンケート集約

ソフトボール	良い点	改善点
試合進行		
会場		
おもてなし 広場なし		<ul style="list-style-type: none"> ・お土産コーナーが少ない。もっとお店があつてほしい。 ・お土産の数が少なかった。
食事		<ul style="list-style-type: none"> ・昼食弁当は量が多くて試合前に食べることができない。
宿泊		
移動		<ul style="list-style-type: none"> ・宿から会場までもう少し近い方が良かった。 ・駅、宿から会場までの距離が遠いのは良くない。
式典		
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・一つひとつ丁寧に対応していただき助かりました。 ・一生懸命な対応が大変気持ちよかったです。できれば期間中通してついてくださるとコミュニケーションも増えて良かったと思います。 ・話などコミュニケーションもとれたり、食事の準備など色々お世話になってありがとうございました。 ・分からぬことを聞くと、すぐに分かりやすく説明してくださり、助かった。（運ボラ） 	
過去の大会比較		
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・無事に開催できて良かった。抗原検査、検温、手指消毒は妥当。 	
その他		
輝わくた け障S てボI にG むA		<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀大会では、ソフトボールチームにもトレーナーをつけてほしい。他競技についてソフトについてないのはなぜか。

いちご一會とちぎ大会 選手団アンケート集約

ボウリング	良い点	改善点
試合進行		・会場入場後の待ち時間が長い。（1時間）
会場		・会場としては少し狭く、監督・コーチのスペースや観覧スペースが不十分に感じた。
おもてなし 広場		・無料の飲み物やおもてなし売り場はなかった。大会の参加記念となるようなグッズ売り場が会場には選手たちにとって大変残念。
食事		
宿泊		
移動	・会場と宿が近く、その点は本当に良かったと思う。（徒歩10分） ・会場が近いのは選手にとってありがたい。	
式典		・式に出られず残念だ。 ・閉会式に出られなかった。
ボランティア	・サポートボランティアはつきませんでしたが、団サポの職員さんが落ち着いて対応され、選手にとっても安心感があった。 ・多くのボランティアが配置され、案内や表示も分かりやすかった。（運ボラ）	・サポボラは必要。
過去の大会と比較		
対策 感染症	・現状の対応は致し方ない。	
その他		・閉会式については選手全員が参加できるほうが良い。
輝S くH む障I けスG てボA	・会場のスペースの確保やボランティアの育成、確保等大変なことだと思いますが、選手ファーストでの対応をお願い致します。	

いちごー会とちぎ大会 選手団アンケート集約

グランドソフトボール	良い点	改善点
試合進行	<ul style="list-style-type: none"> アナウンス（選手紹介）が入って分かりやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 審判の判定や進行に時間がかかりすぎたために、競技時間を短縮されてしまうことになった。おかしい。 審判の判定がはっきりしない。
会場	<ul style="list-style-type: none"> 綺麗に整備されていて気持ち良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮設トイレが男女各2しかなかったので混んでしまった。団体競技なので仮設トイレは多い方が良いのではないか。 案内表示を分かりやすくしてほしい。 仮設トイレを増やしてほしい。
おもてなし広場		<ul style="list-style-type: none"> おみやげ売り場がどこにあるのかも分からなかった。 気が付かなくて行っていません。 出店数が少ない。表示も分かりにくく、楽しめなかった。
食事		<ul style="list-style-type: none"> お弁当も良いのですが、おにぎりの形の方が視覚障害者にとっては食べやすいと思う。
宿泊		<ul style="list-style-type: none"> 泊まった旅館は施設設備面で視覚障害者にとって使いにくい宿。試合会場は非常に遠く、バリアフリーは皆無。 部屋は1階で、階段での昇降は配慮に欠ける。
移動		<ul style="list-style-type: none"> 帯同するガイドヘルパーも検査を受けさせて輸送バスに乗れるようにしていただかないと困る。 交通機関はほほないのは不便。 移動時間が長すぎる。試合終了後もバスの出発まで長時間拘束された。 一時間以上かかり、遠すぎる。
式典		
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 何事もさっと動いてくれて大いに助かりました。 学生の人たちが障害者スポーツを知って理解する良い機会と思う。 話を聞いてくれたり互いの意見交換をしたり交流することができた。 よく声掛けをしてくださった。 選手団に寄り添って色々な判断を優しく取り持ってくださいました。（団サポ） 案内等大変助かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者に対するサポートがほとんどなかった。事前に視覚障害者への接し方をボランティアに伝えてほしい。 人数が多くてありがたいが、サポートの仕方に問題があった。
過去との比較		
感染症対策		<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者にとっては大変検査が多かった。検査方法などが読めない者にとってサポートする家族がいない視覚障害者には検査を自分でやるのは困難。 コロナ対策については、政府の考えを重視し、緩和してほしい。

いちごー会とちぎ大会 選手団アンケート集約

	その他	<ul style="list-style-type: none"> 全盲の人は必ずサポートが必要。慣れない場所で数泊するのにはかなりの不安がある。家族やガイドヘルパーと一緒に参加できるような配慮が必要だと思う。 会場の仮設トイレが少ないと感じた。 会場の近くに宿舎がほしい。 観客が少なくて寂しい大会。入場の申込や手続きが複雑すぎるからではないか。
輝わ くた 障S けスH てボI にG むA	<ul style="list-style-type: none"> 競技のPRをもっとしたい。 競技役員の養成が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿と競技会場は近くにしてほしい。

いちご一回とちぎ大会 選手団アンケート集約

アーチェリー	良い点	改善点
試合進行	<ul style="list-style-type: none"> 行射時間は2分3射で行われて、3射毎に得点記録と矢取りを行った。 放送も分かりやすく、選手が戸惑うことはなかった。 	
会場	<ul style="list-style-type: none"> 競技エリアやスタンバイエリアはほとんど土を踏まずに移動出来るように、プラスチック製のグレーチングが敷かれていきました。 	
おもてなし広場	<ul style="list-style-type: none"> この時期なので飲み物の提供はなかった。おみやげ物はタオルとTシャツとお菓子が準備されていたがお菓子はすぐに売り切れました。 三重大会のグッズ(Tシャツ?タオル)格安で販売されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 特産品の販売はありましたが早めに売り切れました。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ボリューム感ある弁当でご当地の特産物を使っていて、美味しい弁当でした。紙パックのお茶の量がすこし少ない感じでした。 	
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> 那須ミッドシティホテルに滞在しました。シングルでしたが良い部屋でした。 特に良かったのは、レストランです。バイキング形式で美味しい料理でした。また、スタッフの方々のエスコートもとても良かったことが印象に残りました。 ホテルの食事はすべてバイキング形式。料理はたいへん美味しかった。レストランのスタッフも丁寧で車椅子ファーストで対応されていた。 	
移動	<ul style="list-style-type: none"> ホテルから駅まで徒歩6分で問題なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場まではバスで約1時間。 車椅子の方(体重60kg超)を背後から抱きかかえて、バスの乗降口を後ろ向きに乗り降りして運ぶのは、かなり苦労しました。 バスは観光バスでしたので、乗降口の階段が急であったのと通路が狭いため、車椅子の方を抱き抱えて介助して着席するの非常に大変でした。 車椅子の方を輸送する手段は昇降リフト完備のバスや介護福祉車両を優先していただきたいと感じました。
式典		
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県選手団は選手1名、監督1名、総務1名なので、選手団ボランティアの方だけで事足りていました。 細かなことまで気が付いて、とても親切に対応していただきました。 	
過去の大会との比較		
対策 感染症		<ul style="list-style-type: none"> 手指消毒用のアルコールなどが目立つところに設置されてなかった(テーブル用あり)ように思いました。
その他		<p>アーチェリーチームは、開会式・閉会式ともに参加させていただきませんでしたが各競技会場では開会式、閉会式でしか購入出来ないグッズがあり、買えなかったのが残念でした。</p>

いちごー会とちぎ大会 選手団アンケート集約

く S 障 H けス I わ てボ G た に A む輝	2025は総務スタッフ人員がかなり多めに必要 と思います。事前準備の段階から十分な打ち 合わせが必要と思います。	
---	--	--

いちご一會とちぎ大会 選手団アンケート集約

フライング ディスク	良い点	改善点
試合進行		
会場		
おもてなし 広場		
食事		
宿泊		
移動		
式典		閉会式は長く感じた。
アインボーラ		
過去の大会 比較		
感染症対策		
その他		
ス A S けボ輝 H わ てにくいた む障 G		

いちご一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

視察報告

令和5年1月26日(木)

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会
滋賀県国スポ・障スポ大会局

大会の愛称等

大会の愛称・スローガン



○大会のマスコット

とちまるくん



大会の概要(正式競技)

大会期日：令和4年10月29日(土)～11月1日(月)

参加選手団：

選手／約3,500名 役員／約2,000名(各都道府県、指定都市役員)

実施競技および会場

	競技名	会場	
個人競技	陸上競技	カンセキスタジアム(栃木県総合運動公園陸上競技場)	
	水泳	日環アリーナ栃木 屋内水泳場	
	アーチェリー	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場	
	卓球(STT含む)	TKCいちごアリーナ(鹿沼総合体育館)	
	フライングディスク	栃木市総合運動公園陸上競技場	
	ボウリング	足利スターーレーン	
	ボッチャ	にしなすのスポーツプラザ	
団体競技	バスケットボール	日環アリーナ栃木メインアリーナ	
	車いすバスケットボール	栃木県立南体育館	
	ソフトボール	美原公園野球場・第2球場	
	グランドソフトボール	宇都宮市屋板運動場運動広場	
	フットソフトボール	ジェットブラックフラワーズスタジアム(足利市総合運動場硬式野球場)	
	バレーボール	身体	宇都宮市清原体育館
	バレーボール	知的	宇都宮市体育館
	バレーボール	精神	佐野市アリーナたぬま
	サッカー	真岡市総合運動公園陸上競技場・運動広場1	

大会の概要(オープン競技)

競技名	卓球バレー	スポーツウェルネス吹矢	車椅子ダンス
大会期日	10月2日(日)	10月29日(土)	10月30日(日)
会場	わかくさアリーナ	さくら市氏家 体育館	関東ホーチキ にしがた体育館
参加数 (選手・監督、関係者、 観覧者)	約160名	約70名	約140名

卓球バレーは障スポ会期前に開催。

大会の視察報告(式典)

開会式 令和4年10月29日(土) 10:00 ~ 12:00



- ・都道府県応援団のエールに選手団は大変喜ばれていた。
- ・感染症対策から声を出さないかわりにステッキバルーンを使用することで賑やかさを演出していた。



大会の視察報告(式典)

閉会式 令和4年10月31日(月) 15:00 ~ 16:45



・ファイナルステージは夕暮れ時とアコースティックな音楽が相まって、しっとりとした雰囲気に包まれていた。



・栃木県選手団が整列して選手団をお見送りする構成で、感謝の意が感じられた。

大会の視察報告(ボランティア)

大会運営ボランティア



- ・延べ約1,700名が活動。

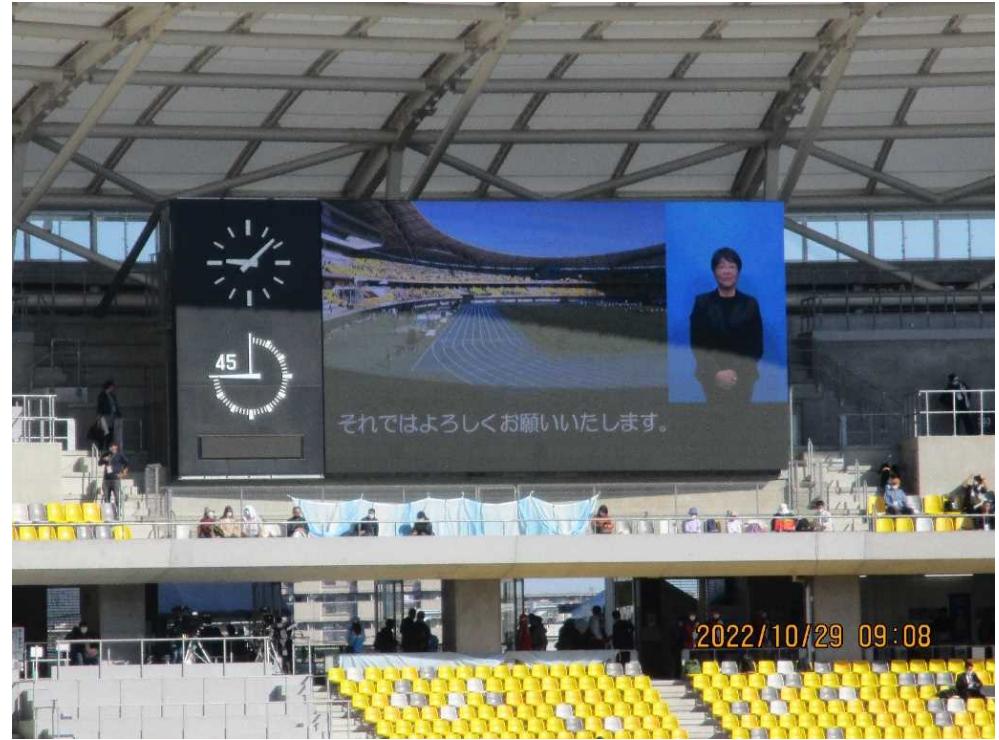
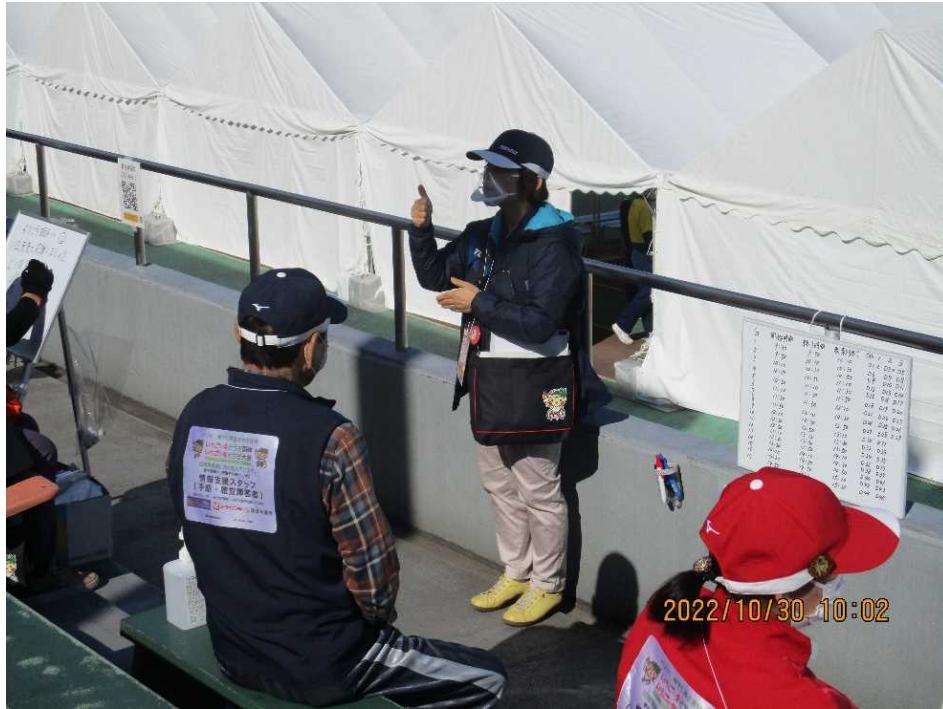
- ・受付、案内、入場管理、会場整備、環境美化等を各会場で実施。



大会の視察報告(ボランティア)

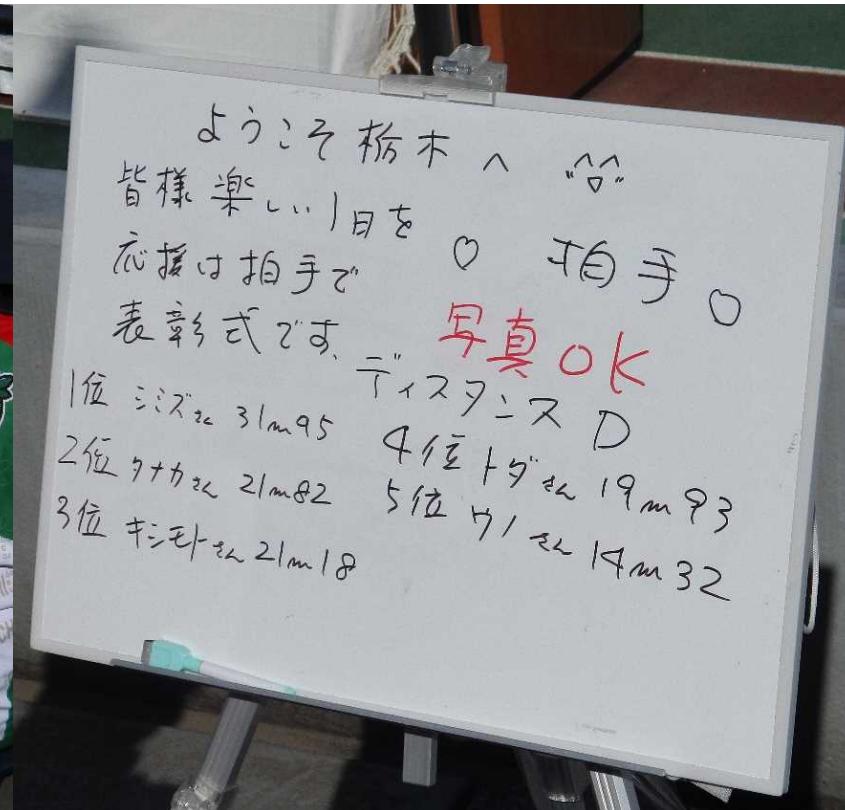
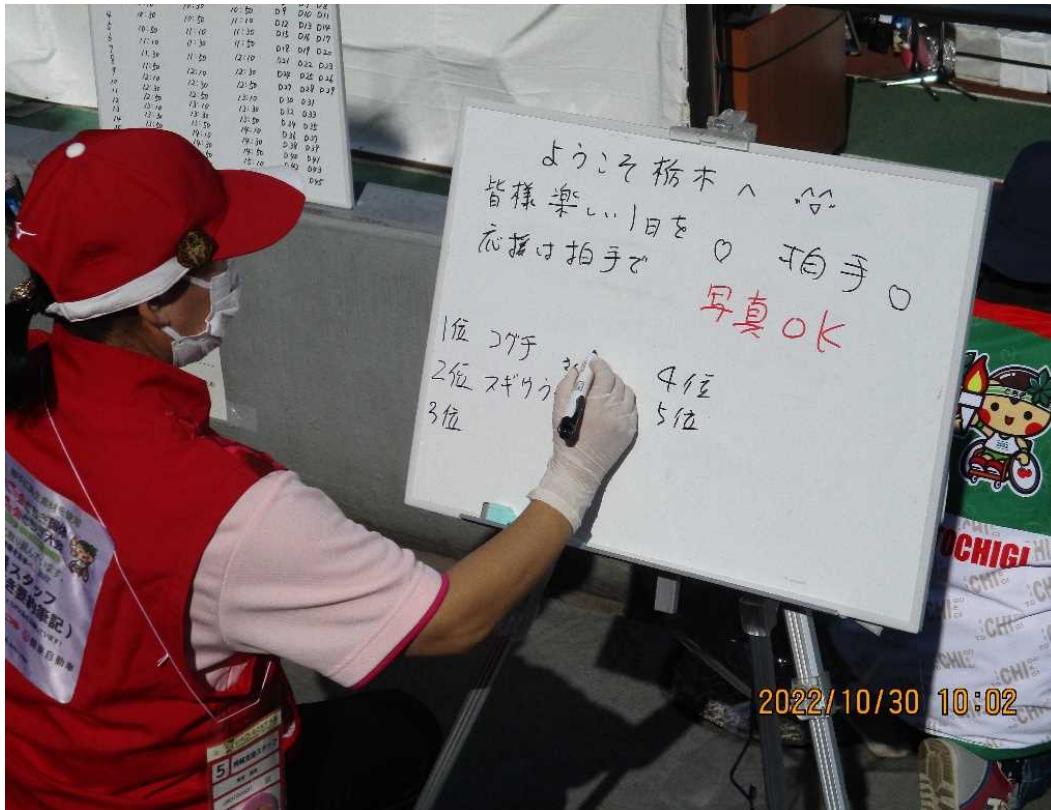
情報支援ボランティア(手話)

・情報支援スタッフ 延べ約920名が参加(手話・要約筆記)



大会の視察報告(ボランティア)

情報支援ボランティア(要約筆記)



・募集対象者は、日常会話ができる程度の手話能力のある方。

大会の視察報告(ボランティア)

選手団サポートボランティア

- ・延べ約3,100名が活動
- ・選手と行動をともにし、歓迎、案内、介助、交流を行う。
- ・県内の大学、専門学校等の学生が参加。



大会の視察報告(施設)

情報保障体制

- ・音声誘導装置
- ・(PC要約筆記)映像装置



大会の視察報告(おもてなし)

いちご一會広場

<メイン会場>

- ・ステージ、飲食、展示販売等。
- ・開閉会式時は、非常に混雑している。
- ・陸上競技以外の出場選手は滞在時間が少ない。



<各競技会場>

- ・メイン会場以外の競技会場にも設置され、ふるまい料理などのおもてなししが実施される。
- ・メイン会場(陸上競技)に比べ小規模。



大会の視察報告(競技運営)

競技役員

- ・審判や記録、表彰等の運営など競技全般を行う。



大会の視察報告(競技運営)

競技補助員 延べ2,600名参加

- 選手誘導や線審、表彰補助など競技を行う上で役員の補助を行う。



大会の視察報告(競技付帯サービス)

コンディショニングルーム



○車いす修理所



大会の視察報告(輸送・交通)

選手団

- ・宿舎から競技会場までバス等で計画的に輸送。
- ・競技用車いすはトラックで輸送。
- ・バス乗車が困難な選手は福祉タクシーで移動。



大会の視察報告(輸送・交通)

一般観客向け

- ・案内看板をシャトルバス発着所や駐車場入り口に設置。



大会の視察報告(滋賀県選手団の活躍)

成績

いちごー会とちぎ大会
参加選手 55名

金メダル	21個
銀メダル	12個
銅メダル	7個
大会新記録	1個
自己新記録	11個



ソフトボール競技は3位で銅メダル獲得

大会の視察報告(感染症対策)

■ 主な大会参加条件

- 大会参加日の14日前から毎日の起床時体温、健康状態および行動歴の記録
- スマートフォン健康管理アプリ等を利用し、前述aの記録



健康管理アプリ

健康管理チェックシート

- 大会参加日前120時間以内に採取した検体でPCR検査を受検し陰性であること
- 大会参加日に抗原定性検査を実施し陰性であること
- 一部の参加者は、大会参加日以降に抗原定性検査を実施し陰性であること

大会の視察報告(感染症対策)

新型コロナウィルス感染症対策

競技会場での取組み

- 一般観覧者の制限、事前申込みの導入
- 視察員および報道員の制限、事前申込みの導入
- 競技会場入場時の検温および健康管理アプリ等の確認



大会の視察報告(感染症対策)

■ 競技会場での取組み

- ハンドソープおよび消毒液の設置



- 一般観覧席でのソーシャルディスタンスの確保、入れ替え時の消毒作業

